

# 桃陰バスケットボールクラブだより



旧制天王寺中学校、天王寺高等学校バスケットボール部  
創部95周年にあたって

桃陰バスケットボールクラブ会長 萩原 啓司(高27期)

今年、本校バスケットボールクラブは95周年を迎え、8月10日に記念事業を実施しました。当日午前中は現役との交流戦やフリースロー大会を母校体育館で実施し、記念総会も行いました。また午後からの記念懇親会では来賓11名をはじめ、多くの先輩、後輩の方々にご参加いただきました。祝賀会では大阪と東京をネットで結ぶという画期的な取り組みもあり、来賓の方々からも褒めの言葉を頂きました。

本会の誕生の基礎はクラブ発足当時から同級生や前後の年代で築いてきたものだと思いますが、周年の形を初めてとつたのは1974年の創部50周年記念総会でした。その日の懇親会は、当時、文の里中学校側に立っていた大きな木造の食堂で開催されたことをよく覚えてます。しかしその後しばらくはまとまったクラブ同窓会の活動はありませんでした。

クラブ同窓会としての本格的な活動が開始されたのは、1996年の天中、天高創立100周年記念事業がきっかけで、その年に行われた桃陰BBC70周年記念式典がOB・OG会再結成になって今に至っています。

今年95周年記念でしたが、この後5年を経ると創部100周年を迎えます。今回以上に関係各位の御協力をいただき「桃陰BBC創部100周年記念事業実行委員会」を組織して準備を重ねてまいりたいと考えております。

現状の課題としては会員の増加に反して会費納入の低下、桃陰便りの郵送料、WEBページの充実、各期の連絡方法などがあり、改善すべきところも数多く出てきております。この場をお借りして、ますます会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

今後とも桃陰BBCは現役選手への支援と、母校の発展に寄与するための後援をする努力を進めてまいります。未永く本会への御支援をよろしくお願ひしたいと存じます。



創部50周年記念(1974年)の集合写真



## 創部95周年祝賀会に参加して

西田眞佐子(高9期)

まず、開催のお知らせをいただいた時、大阪まで行かなくても東京の丸の内までいけばいいんだと思いついて参加することに致しました。次の100周年はちょっと自信が……。会場へ入って、年の差も感じ不安もありましたが、皆様のお気づかいにより、楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。

大阪会場の祝賀会の様子は、スクリーンに映し出された画面で、感じ取ることができました。思いがけず大阪会場に参加され、スクリーンにうつしだされている坂本隆史さん(9期)とネットを通じて言葉を交わすことができ、びっくりいたしました。東京と大阪の別会場に参加しているにも関わらず、ともに95周年をお祝いできることを楽しませていただきました。企画・運営を担当された方々にお礼を申し上げます。

ここに1枚の写真をお見せいたします。高校9期のメンバーは、以前から男女一緒に何度か顔をあわせておりました(7期や10期の方を含めて)。さすがに80歳を超えてくると、だんだんとメンバーが欠けていき寂しい感じとなりました。女性の方は天高時代から5人も健在です。今のところ他の人の世話にならず自力で頑張っております。男性からはしぶといといわれています。この写真は、2016年10月29日の皆さんの元気な様子です。残念ながら目谷義夫さんは、2018年2月にお亡くなりになりました。いろいろなことが思い出されます。一つのボールを追っかけ、手にしたボールをシュートする。得点をした時の満足感、本当にいい気持ちでした。今のような長身選手を相手にしては、到底太刀打ちできなかったと思います。よい時代にプレーができ、よい思い出が残ったことに感謝いたします。



## 天中・天高バスケットボール部 創部95周年記念行事実施報告

幹事長 三好哲也(高34期)

天中・天高の活動記録として「桃陰」が残っています。大正15年度版は、大正14年の活動の記録となっています。この「桃陰」によると、バスケットボールクラブの前身である「籃球部」は、大正14年2月創部となっています。ところが、記録を詳細に読むと大正14年9月27日に大阪府下中学籃球戦における富田林学校との試合の記録に「此一戦や昨年の雪辱なり。」との記述があり、大正13年から活動していることが伺える記述となっており、大正13年創部となっているのではないかと考えられます。単に大正13年度創部ということかもしれませんが、創部50周年記念行事が1974年(昭和49年)に実施されていることから大正13年が創部時期であることを8月10日の総会で再確認いたしました。その後、平成30年度の事業報告と会計報告、令和元年の事業計画と予算について説明がありました。総会の最後には、濱岡先生(男子部顧問)と松本先生(女子部顧問)から現役の活動紹介がありました。また、創部95周年記念品として公式球を男女部それぞれに贈呈しました。



男子部主将、OB2名が入賞し副賞を受け取りました。その後、天王寺駅北側にあるパトワールバリアタワー天王寺で、来賓、東京会場参加者も含めておおよそ90名の参加をいただき盛大に祝賀会を開催いたしました。祝賀会の様子の詳細を、写真とビデオで桃陰BBCのウェブサイトにて報告していきますので、是非、ご覧ください。5年後の百周年は、是非皆様ともにお祝いできればと考えております。桃陰BBC会員の皆様のご参加・ご協力をお願い申し上げます。



<https://sites.google.com/site/touinbbc/>



祝賀会終了後の集合写真(東京会場の参加者もスクリーン上に)

### 新春コート開きのご案内

恒例の新春コート開きを次の要領で開催いたします。皆様お誘い合せの上多数のご参加をお待ち申し上げます。

日時：令和2年1月2日(木曜日)

場所 天王寺高校体育館

親睦試合

10時30分～

OGチーム対現役女子

OBチーム対現役男子

12時00分～

新年交歓会(会長挨拶)

12時15分～

OBOG 対OBOG

各試合の優秀選手、敢闘選手を表彰いたします。終了時刻2時を守るようにしていきたいと思っておりますので、順調に進行できますよう、時間厳守にご協力ください。

# 現役だより

## 男子バスケットボール部 顧問 濱岡 武史 先生(体育)

深秋の候、桃陰バスケットボールクラブの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

95周年の式典には、顧問一同招待して頂き、ありがとうございます。また、皆様から温かい言葉もたくさんかけて頂き、そのことが日頃の活動のエネルギーとなっております。創部100周年に向けて、顧問という立場ですが、微力ながら益々の桃陰バスケットクラブ発展のために、現役生徒の指導に尽力して参ります。

さて、春の大会(インターハイ予選)で72期3年生は全員引退をいたしました。73期・74期の新チームは、先輩達が果たせなかった近畿大会出場(大阪7位まで)を目標に始動しました。

新チームは、2生10名(マネージャー2名含む)、1年生16名(マネージャー2名含む)で活動しております。例年に比べると、部員数が少し減りましたが、時間・施設が限られている天王寺高校では、練習としては効率が上がり、活気ある活動が行えています。また全体練習だけでなく、自主的に朝練、昼練にも取り組むチームなので、これからの成長が楽しみです。



夏の大会(ウインターカップ予選)では、春の大会の結果より、シード校としての出場となりました。夏の大会では、毎年のように負けていたシード校とは、ベスト16になるまで対戦しないという抽選となりました。4回戦で牧野高校に敗れてしまい、ベスト32で終わることになってしまいました。ここで、ベスト16になつていないと新人戦でもシードを取れたのですが、大会前、大会中に上級生に怪我人が出てしまい、ベストメンバーで臨めなかったということもあり、公立高校を引く張つていくチームとして、勝ちきつてほしかったものです。打倒私学、公立に負けないという魂を持って活動してもらいたいと思います。



(桃陰BBCから現役部活動への贈呈)

現在は、冬の新人戦に向けて、足腰を鍛え、ファーストブレイク強化、DF強化を目標に、体育館での練習の際、走り込みを行っています。体育館が使用できない日は、当たり負けしない体作りを目標に、ウエイトトレーニングに励んでいます。寒い時期ではありませんが、公式戦会場に足を運んで頂ければ、幸いです。

### 各期代表の登録のお願い。

さて、天王寺高校バスケットボール部は2024年に100周年を迎えます。桃陰BBCは1200人を超す会員からなっておりますが、250人を超える会員の連絡先が不明な状況です。100周年を多くの会員でお祝いしたいと考えております。多くの方々に参加いただくためにも、まずは、会員の連絡網の整備が急務であると思われま

そこで、各期代表を登録いただき、電子的連絡網を整備したいと考えております。現在、17期から70期までで、男子28名、女子12名の登録をいただいておりますが、まだまだ、抜けている学年がございますので、登録をお済でない学年の方々には、是非登録をお願いします。以下の手続きで、各期代表として男女それぞれ1名以上の登録をお願いします。2名以上の登録や重複登録していただいても問題ございません。また、toinbbc@gmail.comに直接メールをいただいても結構ですので登録よろしくお願ひします。

#### 各期代表者登録方法

以下のサイトにアクセスして下記項目を登録してください。

- ・期※
- ・氏名※
- ・男子・女子バスの区分※
- ・連絡先
- ・メアド※
- ※は必須項目

<https://forms.gle/wBqj3EMJZtyrEzim6>



### 男子 <令和元年度 第72回 大阪高等学校バスケットボール選手権大会 >

- 2019.8.24~9.8
- ウインターカップ大阪予選
- 1回戦 天王寺61-49 三国丘
  - 2回戦 天王寺60-34 東大谷
  - 3回戦 天王寺85-58 かわち野
  - 4回戦 天王寺46-62 牧野

### 女子 <令和元年度 第72回 大阪高等学校バスケットボール選手権大会 >

- 2019.8.24~9.8
- ウインターカップ大阪予選
- 1回戦 天王寺84-48
  - アサンブション国際
  - 2回戦 天王寺46-93 樟蔭

### 男子バスケットボール部 顧問 小野 雅弘 先生

95周年式典に参加させていただき、ありがとうございます。そしていつも多大なるご支援本当にありがとうございます。さて私が男子バスケットボール部を見させていた6ヶ月が過ぎました。引退した3年生の雄姿を見て、共にプレーをしてきた2年生だけでなく、入部もない1年生も心を大きく動かされ、そこから新チームがスタートしました。その偉大な先輩方を超えていくことを目標に掲げ、日々練習をこなしています。半年が経ち思うことは、生徒個々の表情が非常に良くなってきているということです。入部したての1年生は新たな仲間と先輩との関係性を築き始め、楽しくプレーをしているように思えます。また、2年生は自分たちがチームの中心になっていくことで、誰かではなく自分が頑張らないといけないという意識がより強くなっているようで、日々の練習の中の集中力は素晴らしいものであります。これからも努力し続ける生徒たちをしっかり支えていってやりたいと考えております。

### 女子バスケットボール部顧問 松本 勤 先生(体育)

平素より女子バスケットボール部の活動に対しご理解、ご協力していただき誠にありがとうございます。お蔭様で日々よりよい活動をさせていただいております。毎回大会の結果報告が中心でしたが、今回は普段の練習内容を報告させていただきます。

時期によって練習メニューを変えております。3ヶ月おきに大まかな練習メニューを組み立ててその中でウイークポイント洗い出し、その部分を改善しながら活動しています。新チームに成り立てのころは、基本を中心としたメニューばかりでした。そこから発展系や新しいスキルなどを習得して対人系へと進むという流れです。ここ最近では、新人戦に向けてゲーム形式の練習試合を多くしています。ゲームの感覚を磨くということやチームとしての決まりごとを徹底していくことでチーム力のアップに図っています。

昨年からは、ピックアップを早くする、ボールを早く前へ動かすなど意識させながら練習に取り組んでいます。オフエンスでもファーストブレイクからセカンドブレイクへ繋げる練習をしています。またハーフコートオフエンスでは分解練習(2対2や3対3)を重ねながらゲームに繋がるように練習しています。

先日公立校大会やさつき杯の予選では、たくさん試合をする中で微力ながら成長を感じることができました。まだまだ修正しなければいけないこともたくさんありますがプレーヤーたちと話し合いながら目標の3回戦進出に向けて尽力してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。



### 73期 男子主将 元村 夏月

いつもご支援ありがとうございます。天王寺男子バスケットボール部キャプテンの元村夏月です。僕は今までキャプテンをした事がなく、まだまだ未熟です。みんなに助けてもらいながら、キャプテンとして精神面でもプレー面でも引つ張って行けるよう頑張っております。

新チームになってからの初めての公式戦であるウインターカップ予選では、ひとつ上の先輩たちがインターハイ予選でベスト16になったことよってシードとして試合をすることが出来ました。そのため比較的強いチームとは別のブロックで戦えました。3回戦まではどの試合も前半は苦戦してしまいました。後半で差を広げることが出来ました。4回戦では公立の牧野高校と戦いました。3年生のセンターの1対1を中心に攻められ、また天王寺がフリーのシュートを決めることができず、前半に差を広げられてしまい、その差を後半で埋めることができず負けてしまいました。結果はベスト32でした。1月の新人戦ではベスト8をめざしています。そのために、ウインターカップ予選で明らかに変わったフィジカルの弱さとシュート力の無さという課題を、毎日ウエイトトレーニングと練習を真剣に取り組んでいます。

僕達が毎日バスケットボールに熱中できるのも、先生方や、OB、OG、保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。そしてこれからもご支援の程よろしくお願ひします。

### 73期 女子主将 小川 夏祈

いつもご支援ありがとうございます。主将を務めさせていただいております。小川夏祈です。中学では陸上部に所属しており、主将でもなかったのですが、様々な面で未熟ですが、仲間にサポートしてもらいつつ頑張っています。

8月から始まったウインターカップ予選。1回線の相手はアサンブション国際でした。新チームになって初の公式戦で、不安もありましたが、83対48で勝利を収めることができました。2回戦の相手は前回大会でベスト16の樟蔭高校でした。1Qだけで40点取られ精神的にも苦しい状態になりましたが、出場したメンバーはもちろん、ベンチからの声も絶えることなく最後まで戦い抜きました。最終的には93対46という結果に終わりましたが、強い相手でも通用する部分があり、自分たちの強みと課題を再確認できた、良い経験となりました。

今は年明けから始まる新人戦に向けて、特にオフエンスとディフェンスの切り替えの速さを意識しながら、普段の練習や練習試合に取り組んでいます。新人戦までにさらにお互いの個性を理解し合せて、1つでも多く勝ち進めるように頑張ります。

こうして私たちがバスケットを出来るのは、先生方、OB・OG、保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。これからもチーム一丸となって精進していきますので、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

### 編集後記

桃陰BBCだよりの初刊は1997年(平成9年)で、OB・OG会活動を振り返る際に貴重な資料となります。我が部の草創期についても、第4号に当時の状況をご寄稿いただいているようです。ご寄稿にご協力いただけます方は、是非下記までご連絡をお願いします。

編集担当連絡先: toinbbc@gmail.com

# 桃陰バスケットボール クラブだより



新型コロナウイルス

桃陰BBC会長 萩原 啓司(高27期)



今年になって新型コロナウイルスにかかわるニュース等が連日途切れることなく報道され、実際に全国で大変な事態を巻き起こしています。今この桃陰BBC便りの原稿を書いている7月24日(金)は、本来世界のスポーツの祭典オリンピックが東京2020の名のもとに開催されるまさに開会式が予定されていた日であります。今のところ延期という状況ですが、来年度のような事態になっているのかは、私達には憶測することもできません。今回発送の遅れた桃陰BBC便りのお詫びとともに、私も府立の学校に在職する一員である立場も踏まえ、簡単に年明けからの振り返りをしてみようと思います。

今年1月には恒例の桃陰BBCコート開きを、母校体育館で実施し、多くのOB・OG諸氏、現役の選手たち、顧問の先生方にも来ていただきました。このウィルスについては「COVID-19」とすでに名づけられ中国では前年末には発生していたようでした。しかしながらコート開きの際には参加者の間では何の話題にもなりません。ただ2月に入り新型コロナウイルスが「指定感染症」になってからの動きにはすさまじいものがありました。様々な学校行事が縮小、中止されることが続き、3月から休校に至ったことは皆さんもよくご存じのことだと思えます。(民間の企業や事業者の方々も大変だったことでしょう。)

この間は当然ながら高校の部活動もいつもの取り組みは困難で、天高バスケットボール部でも同様だったと思います。特に新3年生にすれば現役生活を総括するべきインターハイの中止も決まり、部の中では選手個々の思いは痛いほど選手間で共有できたのでないでしょうか。また指導に当たっていただいている顧問の先生方の心中も推して知るべきものがあります。

7月に入っても依然一部の高校では、新型コロナウイルスの発生に伴う休校が出ています。また特にこの数日間の東京周辺・大阪周辺を中心に全国に感染者が増加していることで、感染が再燃するかの危惧もされています。今後の推移には注意が必要

今回このような状況の中で、本来5月には桃陰BBC便りの発行や総会の実施の準備をすべきではありましたが、遅々として作業が進みませんでした。この紙面を借りてお詫びいたします。便りにつきましては今回発送させていただきましたが、総会に関しては今般の社会的な規制も踏まえ中止することとし、会員の皆様にはWEB、メール等を通じてご意見をいただくことにしたいと思います。様々なご意見をよろしく願います。なお今年度残す活動内容につきましては、秋号送付、コート開き開催、現役支援などがあります。これらの件につきましてはできるだけ早く皆様に届けていく努力は心掛けるつもりではありますが、若干の遅れもあるかと思えます。

とにかく桃陰BBCとしましては、現役諸君の部活動が一時も早く平常時に戻り、練習を積み重ねることができ、他校との練習試合や交流試合、公式戦に臨むことがこの2学期からでも実現できるように心から願っております。会員の皆様にも、それぞれの健康に留意され、この時期を安全に乗り切っていただけまずようよろしくお願いいたします。

## みんなでプロバスケットチーム

### トライフープ岡山を応援しよう!

桃陰BBC会員(OB・OG)にプロバスケット選手かつプロバスケットボールクラブ代表取締役社長がおられるのをご存知ですか? 55期中島聡さんです。



岡山県の特産品とトライフープ岡山のグッズを返礼品としてセットでお送りし、試合をなかなか見られない県外在住の方々に県とクラブの魅力をお届けする企画です。特産品はパートナー・山田養蜂場の特別セットから岡山県産の醤油、オリジナルラベルのビールなど、8種類がラインナップ!

## 2020年8月より 岡山県の魅力を全国へ ふるさと会員 募集スタート



詳しくはクラブHPへ



55期卒業生の中島聡です。在学中はバスケットボール部のキャプテンも務めていました。私は今、Bリーグに所属するプロバスケットボールチーム「トライフープ岡山」を運営しています。トライフープ岡山は岡山県初のプロバスケットチームで、「岡山から世界へ」「『挑戦』や『感動』をエンターテイメントとして創造するクラブ」を理念に掲げています。Bリーグ参入初年度となった2019-20シーズン、B3リーグで12クラブ中5位となり、来シーズン以降のB2昇格が目標です。新型コロナウイルスの影響が懸念されますが、現在は2021年1月より開幕する新シーズンに向けて、さらなるファン・競技者人口の拡大と協賛企業の獲得に励んでいます。

## トライフープ岡山への応援エール 前会長 竹村英雄 (高24期)



41号に会長ご挨拶を投稿して以来の久しぶりの投稿となります。現在関西学生バスケットボール連盟の理事として、相変わらずバスケット三昧の日々を送っております。現在コロナ禍により、全ての大会が中止となり、いかに自分がバスケット中心の生活を送ってきたのかと思いが、悶々とした日々を過ごしております。連盟では秋のリーグ戦の開催に向けて奮闘努力しております。

さて今回投稿したのは、55期中島君が運営しておりますB3のプロバスケットボールチーム・トライフープ岡山への応援エールであります。彼は今年の正月のコート開きに参加され華麗なプレーを披露し、その後の懇親会にも参加され、多くのOBの前でプロバスケットへの熱い夢を語り、OB一同が賛同し、応援していきこうではないかと大いに盛り上がりしました。

その後、竹村はファンクラブに入会し、BRONZEMEMBER NO94であります。残念ながら、その後のコロナ禍でゲームへの応援には行けませんでした。が、次期シーズンには、是非コートに応援に行きたいと思っております。

中島君へのお願いですが、トライフープ岡山と天王寺高校のOB・OG・現役諸君との交流を持って頂き、OB・OG・現役諸君へ今後のバスケット人生に夢と希望を与えて頂きますよう切望します。OB・OG及び現役の皆様、トライフープ岡山への熱い応援エールをお願いします。



## 桃陰BBC 令和元年収支決算報告・令和二年収支予算案

会計幹事 上田茂治(高30期)

平成31年度(令和元年)の収支決算および令和2年度の収支予算案をお示しします。平成31年度の会費収入より3口増の136口・40.8万円のお振込みをいただきました。これも会員諸氏のご協力のおかげと感謝申し上げます。昨年度は、95周年記念総会が東京・大阪で同時開催(約90名参加)され、インターネットを活用した双方向のコミュニケーションもあり大いに盛り上がりました。決算については、下表を参照いただきたく思います。高校49期の小西氏による記念Tシャツの作成による寄付等もあり、収支面でも、順調に終了いたしました。コロナの影響で、今年度の会費発行は、今回限りです。会費納付のご案内も、今年が最後です。本年度は、新型コロナウイルスの影響で、活動面で制約があります。が、引き続き皆様の温かいご支援をお願いいたします。

収入の部		支出の部	
予算	決算	予算	決算
通常会費	480,000	事業費	200,000
総会費	100,000	通信・事務費	150,000
特別寄付	49,000	印刷費	77,000
総計	629,000	雑費	40,000
		95周年事業費	607,800
		前期末繰越	1,630,658
		合計	2,210,658

収入の部		支出の部	
予算	決算	予算	決算
通常会費	450,000	事業費	200,000
総会費	100,000	通信・事務費	150,000
前期繰越	1,686,047	印刷費	55,000
		手数料	22,000
		総会費	100,000
		雑費	25,000
		予備費	1,684,047
合計	2,236,047	合計	2,236,047

単価	個数	小計
参加費	6,000	62
寄付	10,000	1
お祝い	30,000	1
記念誌販売	1,000	40
Tシャツ販売	47,600	1
収入合計		607,800
会場費	5,500	73
記念誌作成	124,848	1
現役への記念品	24,230	1
	13,825	1
	1,620	1
	1,400	1
	1,040	6
	1,369	1
	1,261	1
	5,322	1
	108	1
	802	1
支出合計		583,173

以上の決算について、監査の結果正しいことを認めます。  
令和2年5月11日 会計監査 新藤 光一(高校27期)  
令和2年5月11日 会計監査 清水 英樹(高校34期)

## 離れていると人恋し

幹事長 三好哲也(高34期)

2020年になって、中国で感染拡大が伝えられた新型コロナウイルスの情報が、3月以降、日増しに増加してきました。4月になっては、不要不急の移動の自粛がニュースで伝えられ、5月には、緊急事態宣言が発せられました。一端、感染者数は収まりましたが、7月になって感染拡大の第2波が本格的に始まった感が強くなっています。日本では、社会活動・経済活動も行いながら感染予防に取り組む「新しい生活様式」の徹底が広がっています。

大学の教員である小職は、教育を提供する業としてこれまで人に接することや人に話すことを前提に仕事に取り組んできました。ところが、この新型コロナウイルス感染症防止のため、授業やゼミナール活動はネットを使った遠隔授業となり、学生だけではなく、他者との交流が文字ベース中心に変化しました。当初は、ネットワーク通信環境が不確定でありましたので、一部の授業ではマイクロソフトのTEAMSというオンライン会議を使ってミーティング形式で授業を行っていますが、講義のほとんどは、ビデオを提供するオンデマンド授業をすることにしました。大阪に単身赴任していますので、奈良の自宅でビデオ作り、メールによる事務処理や学生対応を1日中おこなっています。朝から晩までコンピュータに向かってひたすら話しかける作業の連続です。ビデオ制作でもオンライン授業であっても、反応の見えない画面に、ただ話しかける毎日でした。オンライン会議も同様で、司会と説明者が一方的に話す機会が多く、家族も愛知県の自宅にいますので、朝からひと時も会話をせずに夜になることも頻繁にありました。その物足りなさからか「アレクサ！今日の天気は？」など意味もなくAIスピーカ話しかけたりしてました。

こんなときに、ネット宴会に誘われて参加しましたが、これが意外におもしろい。別に、周りが飲もうが飲むまいかが気にならない。ただ、会話を楽しむことが、純粹に楽しい。コロナ禍でヒトとの会話に飢えていたからか、そんなネット宴会にはまってしまい、あちこちの関係で、飲み会をする機会が増えました。新型コロナ禍において定着しつつある「新しい生活様式」に伴って、リアルを実現するネットサービスが次々と出現しています。新しいサービス利用には、大きな抵抗感がありますが、使ってみると意外に簡単に楽しめることがよくあります。もちろんリアルな飲み会よりもいろんな意味で情報共有が難しいところがありますが、時間の制約や物理的な距離の制約に縛られないメリットのあるネット宴会は、引き続き人気を集めるのではないかと思います。8月に天高同期の同窓会をネットで開催計画したところ、ニューヨークやロンドンからの参加表明もあり、まさに距離を越えた交流になりました。今後、新しいサービスが次々と提供されると予想されますが、まずは、めんどくさがらずに新しい試みにも参加する意欲を失くさないように自戒を持って努力したいと思います。

## 現役だより

男子バスケットボール部 顧問 濱岡 武史 先生(体育)

残暑の候、桃陰バスケットボールクラブの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より、バスケットボール部の活動にご支援・ご声援いただきありがとうございます。

1月に行われた新人戦では、地区大会2回戦で、近年全国大会でも結果を残している強豪私学の近大付属高校に、圧倒的な力の差をみせつけ

られ、敗戦しました。先輩たちも新人戦で、近大付属高校に大差で敗れ、悔しさをバネに、練習に取り組み、春の大会(インターハイ予選)で、ベスト16まで勝ち上がったので、73期74期のプレーヤーたちも自分たちも春の大会で結果を残すぞという気持ちで活動をしていました。

1月、2月の練習は、寒い時期にも関わらず、すごく活気があり、走り込みの練習にも積極的に取り組んでいました。チームの仕上がりがよく、このままなら、春の大会はいい試合ができるのではないかと思います。矢先に、コロナ禍により、活動が停止することになりました。

その後、春の大会が延期との連絡、そして中止となる連絡。顧問の立場としても悲しい気持ちになりましたが、生徒は特に3年生にとつては、非常にづらい経験となったことでしょう。自粛期間中、公務のため学校に来る機会はありませんでしたが、当たり前のようにいた部員は目の前にいません。バスケットボールを指導できることや頑張る姿勢や成長した姿をみせてくれる部員がいるということは、指導者として幸せなことだと改めて感じました。

6月15日(月)よりクラブ活動が再開しました。新型コロナ感染のことを考えるとクラブ活動を行うことについては、心配なことは多々あります。

しかし、今の生徒が高校バスケットをできる期間は限られているので、感染予防を可能な限り行い、日々活動を行っています。5名の3年生も引退を先延ばしにし、一緒に活動しています。

当面の目標は、9月20日(日)始まるウインターカップ予選で結果を出すことですが、今は大会が実施できることを、切に願っています。

## 女子バスケットボール部顧問 松本 勤 先生(体育)

平素より女子バスケットボール部の活動に対しご理解、ご協力していただき誠にありがとうございます。

大阪ではコロナの感染が日々拡大していますが、感染症対策をしながらなんとか学校生活、部活動ができています。みなさまにおかれましては大変なご苦労をされておられると案じております。

この度、主顧問として働いていた数学科の長澤が転勤になりました。長澤は天王寺高校に来て6年間顧問として携わり、試合や練習試合の付き添いだけでなく、大会の登録や事務作業などをしていただいております。本当に今までお世話になりました。新たにバスケットボール経験者である数学科の伊藤が副顧問になり、現在は協力しながら指導しております。

半年ほど前に遡るのですが、大会報告させていただきます。

1月に行われた東地区の新人戦では3回戦を突破し、ベスト4がけで河南高校に負けてベスト8でした。何年振りかわかりませんが、中央大会の出場権を手に入れました。本場にプレーヤーたちはよく頑張りました。1戦1戦勝ち抜くたびに成長していく姿をみせてもらいました。

中央大会1回戦は、例年ベスト4に入っている星翔高校とあたり大敗しました。結果は大阪ベスト32でした。試合が続いた1か月気持ちを一つにして日々の練習に取り組むこと、格上の相手と戦えたなど良い経験ができたのではないかと思います。

この経験を糧に4月のインターハイ予選にぶつけたのですが、ご存じの通りコロナの影響で中止になりました。73期の3年生とつて引退のかかった大きな大会だったので大変残念に思います。

## 74期 男子主将 田中 翔虎

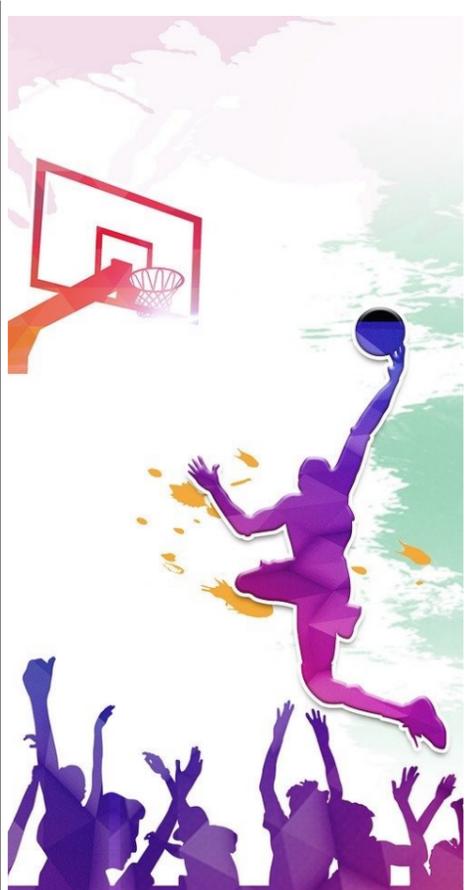
74期男子バスケットボール部キャプテンの田中翔虎です。いつもご支援ありがとうございます。75期新入生を12名(プレーヤー9名、マネージャー3名)迎え、私たちは大阪府ベスト8を目標に毎日練習に励んでいます。74期は、1年生の頃から試合に出ている者も多く、公立高校には珍しい高身長選手もいます。75期にも即戦力となる選手がいるので、さらに選手層が厚くなりました。また、74期、75期全員に共通してバスケットボールに対する意識が非常に高いです。学校のきまりで平日は17時45分までしか練習ができず、長い練習時間を確保できていませんが、集中して内容の濃い練習をすることができています。目標に向けてチーム一丸となって頑張るので、応援よろしくお願いします。

## 74期 女子主将・副将 角田結奈・中田帆七海

いつもご支援していただき、ありがとうございます。74期主将と副将を務めております角田結奈と中田帆七海です。

3月頃から新型コロナウイルスの影響で、部活動が出来ず、チームメイトにも会えず寂しい日々が続きました。

6月中旬からは、感染症対策はしながらですが部活動が再開したものの、先輩方の引退試合は出来ず不完全燃焼のまま終わってしまいました。しかし、75期の個性溢れる10人が入部してくれました。うまく引き継ぎも出来ず大変なことも多いですが、全員で支え合い頑張っています。全員で決めた「全ての公式戦で4勝する」という目標を達成するために、日々努力していきたいと思っています。



編集後記... 桃陰BBCだよりの初刊は1997年(平成9年)で、OB・OG会活動を振り返る際に貴重な資料となります。我が部の草創期についても、第4号に当時の状況をご寄稿いただいているようです。ご寄稿にご協力いただけます方は、是非下記までご連絡をお願いします。

編集担当連絡先: tomibbc@gmail.com

# 桃陰バスケットボールクラブだより



## 第2期目桃陰BBC会長就任のご挨拶

桃陰BBC会長

萩原

啓司(高27期)

会長2期目となりました萩原です。会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしのことでしょうか。このところ桃陰BBCの便りやご案内などでの書き出しだけでは、私用を問わず様々な連絡や案内を差し上げ、お一人の立場が異なりますので、一概には申せませんが、本当にいろいろとご苦労があると察しております。今しばらくコロナ終息に向けて、皆様と力を合わせ、お互いに助け合っていきたいものです。



この原稿を書いているのは、GW直後で3回目の緊急事態宣言がさらに月末まで延長されることになったところです。今はさらに延長が予想されています。大阪は全国の中でも新しい感染者数や死者数の多さ、医療のひっ迫した状況のいずれをとりましても予想していた以上で措置延長やむなしの感もありますが、これほど長く続くとうんざりしてくるのも致し方ないところです。そして昨年来からの社会状況の中で、桃陰BBCの活動も中止に追い込まれています。新春コート開きをはじめ、役員会や総会さえも開けない状況もあり、現役への支援についてはなんとか続けてはいますが、会員の皆様にはなかなか活動に参加していただくことができません。誠に申し訳なく思っております。

今年度も例年6、7月に開催していません総会も、実施する方向で検討はいたしましたが、会場の問題やオンラインで実施するには障害となることも多いとの判断により中止といたします。詳細は6月に桃陰BBCを発行いたしますのでご覧ください。また今年度の今後の活動につきましては前回開催できなかった役員会を再度開き、検討を加え、桃陰BBCを通して皆様にお知らせする所存ですので宜しくお願ひいたします。

会員の皆様、現役の部員の皆様また我が天高BBCを支えていただいている顧問の先生をはじめ天王寺高校に関係される皆様には、さらなるウイルスに対する対策をしていただき、お互いにこの難局を乗り越えていきたいと思います。乗り越えた先に元の通りか否かはまだ分かりませんが、できる限り円滑な桃陰BBCの活動が再開できるように、今年度新しい副会長お二人を加え組織も再構成して活動していきます。お二人には100周年記念式典にも向け、それぞれの力を発揮していただいで式典を成功裡に導いていただけたらと考えております。そして現役のプレイヤーたちにより有効な支援・援助ができる活動を考えていくとも、2024年の桃陰BBC100周年を目標として新体制で取り組んでいきたいと思います。

話は変わりますが、今年のスポーツ界を見渡しますと日本人選手の素晴らしい活躍が目につきます。4月には松山英樹選手がPGAツアーマスターズ優勝。現在MLBでは大谷翔平選手が投打(走攻守)に素晴らしい活躍をしてベーブルースと比較されるほどの連日の報道、またバスケットボール界でもNBAで八村塁選手や渡辺雄太選手の活躍も伝えられています。ここに書ききれませんが、様々なスポーツで日本人選手が大活躍するニュースも今までのように目新しく感じることもありませんし、驚くことがなくなってきました。さらにスポーツ界だけにどまらず10代20代の若手が様々な分野で台頭してきています。これまで私たちが感じてき

### 定期総会中止のお知らせ

例年7月に定期総会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を勘案し、昨年度に続き中止することにさせていただきます。今後の状況はまだ不明ですが、新春コート開きが開催できることを願っております。

た、日本選手は外国の選手の方々のポテンシャルと比較すると劣るのでは...と説明のつかないことが起こってきているように感じます。時代の移り変わりの中で、今後ますますこのような状況は一般的なものになっていくのだと思います。これからの新しい時代を担っていく若い力に期待したいと思っています。先ほど触れましたが、2024年には旧制天王寺中学校・天王寺高等学校バスケットボール部創部100周年を迎えます。きっとその時点では新型コロナウイルスや変異株なども収まり、皆様で喜び合えることができると思っております。今年度もよろしく本会にご協力いただけますよう心からお願ひ申し上げます。

### 副会長への就任にあたって

漁元信博 (高26期)

この度、桃陰バスケットボールクラブ(以下「桃陰BBC」)副会長にご任命いただきました。高26期 漁元信博と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

2018年11月、完全リタイアを機に、36年在任した関東(東京、埼玉)を離れ、大阪(和泉市)に戻ってきました。故郷大阪は浦島太郎の私を温かく向かい入れてくれ、息子夫婦、孫、学生時代の友人達と楽しい余生(?)を送っています。

高26期は、私、篠塚(堺市在住)、福島(千葉県野田市在住)、林(35歳で急逝)の4人です。篠塚、福島とは相も変わらずバカ付き合いから抜けられず、林とは今も「繋がって」います。

桃陰BBCは長い歴史を誇りますが、その間、世の中の価値観も絶えず変遷しています。ただ、同じ釜の飯を食った先輩、同僚、後輩の繋がりが、絆ほどの世代でも変わるものではなく、唯一無二、かけがえの無いものと思っています。関東在住の間、桃陰BBCとは不徳の致すところで疎遠となっていましたが、これからは微力ではありますが、桃陰BBCが現役とOB・OGとの繋がりが、OB・OGの語らいの場として益々充実するよう、諸先輩、後輩の力もお借りし、重責を果たしていきたいと思います。



### 副会長への就任にあたって

松岡孝枝 (高35期)

コロナ感染収束の兆しがなかなか見えない毎日ですが、会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

この度、伝統・歴史ある桃陰バスケットボールクラブの副会長に推薦いただき、大変重責を感じております。が同時にこのような機会を与えてくださったことに深く感謝し、微力ながら何かお役に立てればとお引き受けさせていただきます。今日まで組織を拡充・運営してきてくださった諸先輩のご苦労、ご努力の賜物であります。桃陰BBCを継承し発展させていくことに精進したいと存じます。さしあたっては、3年後の創部100周年記念事業が、これまで以上の盛会になりますよう努力したいと思います。コロナ禍の世の中になり、何かと制限が多い毎日ですが、皆で100周年事業を盛り上げる！と、共通の目標を持ち、楽しみにしながら2024年を迎えられればと思います。

### 桃陰バスケットボールクラブ役員リスト

役職	氏名	期	氏名	期	氏名	期
会長	萩原啓司	高27期				
副会長	加藤真吾	高24期	漁元信博	高26期	松岡孝枝	高35期
会計	上田茂司	高30期	原田靖弘	高28期		
会計監査	新藤光一	高27期	清水英樹	高34期		
幹事長	三好哲也	高34期				
副幹事長	乾 英夫	高25期	篠塚宗徹	高26期	田中康博	高30期
	岡本貴生	高32期	杉本忠三郎	高34期	井上奈徳	高34期
常任幹事	山本 理	高34期	植野建司	高36期		
	保田英和	高36期	上向正浩	高41期	小西宏和	高49期
	土井邦輝	高38期	牧 美由紀	高58期		
	赤松俊雄	高36期	工藤保子	高37期		
顧問	辻 俊雄	中49期	木村雅英	高 3期	岩本孝雄	高 5期
	松本 亘	高 6期	川崎 保	高10期	川北精三	高12期
	大橋勝也	高15期	岩井文哉	高17期	今津 博	高19期
	志知道博	高20期	竹村英雄	高24期	大西徹夫	高25期
	多賀謙蔵	高27期	山下尚代	高27期		
クラブ顧問	濱岡武史		松本 勤			

### 全国大会と聖火ランナー

川妻 史明 (高35期)

コロナ禍の中、OB・OG会の皆様の中にも新型コロナウイルス感染症にご自身やご家族が罹患された方もおられるかと思えます。はじめに、心よりお見舞い申し上げます。私は、年度途中に突然転勤が決まりました。仕事柄とても多忙になったりというくらいで、幸い健康に暮らしていますが、直接は感染していませんが、皆様それぞれに思いがけない変化や苦しさの中におられることでしょう。



私、川妻は、高34期の浅尾先輩が桃陰BBCだより41号に書かれていた、練習厳しすぎの東我孫子中学校出身です。高校時代は良い選手が揃っていたので、もつと練習して強くなりたいたいという一心でした。厳しくすることが、強くなることだと思ひ頑張りでしたが、空回りしていたと思います。当時の関係する方々に申し訳なく思います。医師となり、健康運動指導士の資格も取って、トレーニング理論やスポーツ栄養学、心理学を学ぶ中で、自分の高校時代を思い返すと汗顔の至りです。あの頃は頑固だったので、誰かから教えられることも聞かなくて、うか解りませんが、こういう事を知っていたら、もつと良い形で切磋琢磨し、楽しく練習できたのだろうと思います。重ね重ねすみません。

卒業後は、実業団のチームに所属しました。高36期の保田君や高41期の上向君とも一緒にプレーした事もありました。そのチームがやがて全国大会に出場するようになり、私も得点することが出来たのが良い思い出です(写真)。今はこのコロナ禍で練習が出来ず、勤務先まで走ったり自転車で乗って体力の維持に努めています。身体を動かすことが大好きな皆様も、思うように出来ずご苦労なさっていることと思います。

コロナ太りという言葉もありますが、楽しくスポーツを続けられる健康な身体を作り、パフォーマンスを上げるには、日々の食事が重要です。バランスよく食べるとよく言われていますが、数万年の時間をかけて作り上げられてきた日本人の身体は、ここ数十年で普及した欧米型の食事に馴染んでいません。高タンパク・高脂肪食は肥満や生活習慣病のリスクになり、またパフォーマンスも上がりません。儉約遺伝子(省エネ型の身体)を持つ私たちの多くは、ご飯や野菜を中心とした食事が適しています。スポーツ栄養協会理事長の講演を最近聞いたのですが、トップクラスの選手でもご飯の消費量が減っているそうです。「主食」という言葉にも表現されているように、ご飯は食事の中心となるものです。カーボローディングという、炭水化物を沢山食べてグリコーゲンを貯蔵することで高い運動能力を得るという方法もあります。せつかく美味しいお米がたくさんとれる国に住んでいるので、その役割や美味しさをもつと知って、もつと食べてほしいと思います。

また、筋肉はたんぱく質で出来ているからスポーツ選手は肉を、と言われていますが、肉の摂取が過剰になりがちな現代生活の中で、特に肉を意識する必要はないのではと思います。最近ではベジタリアンを公言するスポーツ選手も増えてきました(ジョコビッチやヴィーナス・ウィリアムズ、メッシ、カール・ルイスが有名ですね)。私も、週末は普通に肉や魚も食べていますが、平日は基本的に米と野菜中心の食事をとっています。野菜だけでも工夫次第で満足感のある食事にするのはできますし、平日と週末のメリハリも出てなかなか良いです。プロテインも最近ではコンビニで見かけるほど身近になりましたが、日常の食事をきちんと摂っているれば、基本的に筋肉作りにはあまり寄与しないので必要ありません(このあたりの話は岡村博嗣著「ジムに通う人の栄養学」という本に詳しく出ています)。そう遠くない将来、栄養や食べものに対する価値観も変わってくるのではないかと密かに期待しています。

このような状況下ですが、前勤務地である福井県で東京オリンピックの聖火ランナーに選ばれています。悩みましたが、今のところ走ることにしています。先行き不透明な状況です。どうかなるか解りませんが、もしよろしければ、NHKや読売新聞のサイトで探してみたいです(原稿の時点でまだ公表されていませんが、5/29なので多分下記URLになると思います)。

<https://sports.nhk.or.jp/olympic/torch/events/20210529/>  
<https://www.yomuri.co.jp/olympic/2020/torch/photo/?pref=fukui>

皆様それぞれに大変な中ですが、またOB会でお会いできる日が来ることを願っています。

令和2年度の収支決算および令和3年度の収支予算案をお示しします。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響から、会費納入のご案内の会誌送付が1度となったこともあり、前年度の会費収入より47口減の89口・26.7万円のお振込みとなりました。その中で、お振込みいただいた会員諸氏の皆様には、感謝申し上げます。

桃陰バスケットボールクラブ令和2年度収支決算報告 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
収入の部: 通常会費 450,000, 総会費 100,000, 前期繰越 1,686,047, 合計 2,236,047
支出の部: 事業費 200,000, 通信・事務費 150,000, 印刷費 55,000, 手数料 22,000, 総会費 100,000, 雑費 25,000, 子備費 1,684,047, 合計 2,236,047

桃陰バスケットボールクラブ令和3年度収支予算案 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)
収入の部: 通常会費 450,000, 総会費 100,000, 前期繰越 1,641,841, 合計 2,191,841
支出の部: 事業費 200,000, 通信・事務費 150,000, 印刷費 55,000, 手数料 22,000, 総会費 100,000, 雑費 25,000, 子備費 1,639,841, 合計 2,191,841

現役だより

男子バスケットボール部 顧問 濱岡 武史 先生(体育)

初夏の候、桃陰バスケットボールクラブの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より、バスケットボール部の活動にご支援・ご声援いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度全国的な休校が行われ、大阪府では6月中旬から学校再開となりました。クラブ活動においては感染症対策を講じながらの活動となりましたが、天王寺高校男子バスケットボール部は、コロナ禍の影響を直接的に受ける1年となりました。私自身、天王寺高校10年目を迎え、今年こそ目標としていた近畿大会出場を達成するために、選手達の指導を行い、また選手達も意欲的に練習に取り組んできました。

力をつけて臨んだ1月の新人戦、順当に勝ち上がり、3回戦でシード校の金光藤蔭と対戦する前日に、大阪府教育委員会の定める指示のもと、校内で新型コロナウイルスの陽性者が確認され、休校となり、試合は棄権となりました。

これからの選手達は、すごかった。活動時間に制限を設けられる状況でしたが、悔しい思いを払拭し、さらに意欲的に、活発に練習に励み、春のインターハイ予選を目指して活動を行いました。春の大会では、私学の強豪・シード校を倒し、順当に4回戦まで勝ち進みました。でもまたあの悪夢が。。4回戦前日の夜に休校となり、さまざまな手立ては講じたものの、休校は解除されず

現役の戦績

令和3年度 第76回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会

男子

- 天王寺 ○ 63-55 ● 桃山学院
天王寺 ○ 60-57 ● 北野
天王寺 ○ 96-54 ● 上野宮
天王寺 ● 0-20 ○ 門真西 ※コロナ不戦敗

女子

- 天王寺 ○ 60-52 ● 池田
天王寺 ○ 105-43 ● アサンブション国際
天王寺 ● 32-93 ○ 宣真

令和2年度 第68回大阪高等学校バスケットボール新人大会 東地区 1/10 - 1/24

男子

- 天王寺 ○ 91-59 ● 大教大天王寺
天王寺 ○ 85-59 ● みどり清朋
天王寺 ● 0-20 ○ 金光藤蔭 コロナ不戦敗

女子

- 天王寺 ○ 96-57 ● 上宮
天王寺 ● 0-20 ○ 清水谷 コロナ不戦敗

令和2年度第75回大阪高等学校バスケットボール選手権大会

男子

- 天王寺 ○ 116-41 ● 長野
天王寺 ○ 114-54 ● 西野田工科
天王寺 ○ 81-74 ● 北千里
天王寺 ● 57-85 ○ 関西第一

女子

- 天王寺 ● 38-97 ○ 関西第一

令和元年度 第67回大阪高等学校バスケットボール新人大会 1/11-1/19

東地区大会

男子

- 天王寺 ○ 56-35 ● 山本
天王寺 ● 40-99 ○ 近大付属

女子

- 天王寺 ○ 84-49 ● 長野
天王寺 ○ 95-20 ● 高津・枚岡樟風・八尾翠翔
天王寺 ○ 91-50 ● 八尾北
天王寺 ● 41-58 ○ 河南

に、またも棄権となりました。それはそれは、選手達はつらいだろうし、悔しいだろうし、悲しいだろうし。私自身、受け止めきれず、選手達にかけられる言葉が見つかりませんでした。この文章を書いている今も、あの時の感情を表現しきれません。緊急事態宣言下では、クラブ活動は休止となっています。活動が再開となれば、また75期・76期の選手とともに、魅力的なチームを作りたいと思います。

女子バスケットボール部顧問 松本 勤 先生(体育)

平素より女子バスケットボール部の活動に対しご理解、ご協力していただき誠にありがとうございます。試合の結果報告はキャプテンの角田からするので、私はこの1年間の活動状況と現状のことを報告します。

新型コロナウイルスの感染拡大により度重なる緊急事態宣言や学校休校などこの1年間は活動することが大変苦しい1年でした。活動再開が許可されたとしても平日1時間のみの活動、土日も両方行えないというかなり厳しい状況の中、まともに練習できていませんでした。

しかしそのような中でも限られた時間の中で前向きに練習に取り組んでいました。本当に生徒たちはよく我慢しながら活動していました。また感染症対策に関しても、運動部の中でも一番徹底(練習時マスク着用など)して行っていました。試合の結果は、目標の3回戦突破とまではいきませんでした。技術・体力含め足りないところがたくさんあるので、8月末のウィンターカップ予選までに行けることをやっていきます。

現在、インターハイ予選を終え活動が休止している状況です。その中でもオリジナルのトレーニング動画を作成し、週に3回行うのと1週間でトータル10キロ以上走るという目標の中で頑張っています。再開したときに良いスタートが切れるようにしていきたいと思えます。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

74期 男子主将

田中 翔虎

74期男子バスケットボール部の田中翔虎です。いつもご支援ありがとうございます。私達は、大阪府ベスト8を目標に日々練習に励んでいます。今年度は新型コロナウイルスの影響で十分な練習時間を確保できなかったり、大会が無事開催されるかなど、常に不安が付き纏いました。そんな中でも、今まで部活動で培ってきた忍耐力やバスケットをもっと上手になりたいという向上心から、限られた時間で焦点を絞って効率的に練習を行い、また各自でトレーニングを

するなど、地道な努力を続けました。新人戦やインターハイでは、棄権という形になり悔しい思いをしましたが、新たに76期を迎え、再スタートを切りますので、応援よろしく申し上げます。

74期 女子主将

角田結奈

いつもご支援ありがとうございます。74期キャプテンを務めさせていただいた、角田結奈です。例年なら8月末から始まるウィンターカップ予選が、新型コロナウイルスの影響で9月の中旬に行われました。新チーム初の公式戦の初戦、相手は関西大学附属第一高校でした。最初から相手の厳しいDFに苦しみ、自分達の思うようにプレーできないまま終わってしまいました。

たくさん課題が見えたウィンターカップ予選を経て、練習や練習試合を重ねて一回り強くなった私たちが次に挑んだのはチーム目標「中央大会出場」がかかった新人戦。初戦の上宮戦は苦しい時間帯もありましたが無事勝利を収めることができました。勝ったら中央大会出場が決まる清水谷戦の前日に新型コロナウイルスの影響により棄権が決まってしまいました。1番の目標であっただけに、今までに感じたことのない悔しさもどかしさを感じました。そして、練習をして試合ができることが当たり前ではないということを身をもって実感しました。

その後もたくさん制限があり、不安なことばかりでしたがインターハイ予選も約1ヶ月の延期を経て無事開催されました。たくさんさんの想いを胸に迎えたこの大会の初戦は池田高校、2回戦はアサンブション国際高校でした。どちらも無事勝利を収め、迎えた3回戦の相手は宣真高校でした。1Qは天王寺のペースで試合を運ぶことができて同点に終わりましたが、2Qから徐々に相手のペースに飲み込まれて点数も離されてしまいました。それでもベンチからの声は絶えず、最後まで諦めず戦い抜くことができました。完敗に終わりましたが、見つかった沢山の課題にしっかりと向き合っていくと思っています。

このようなご時世の中でも、私たちがバスケットボールをできるのは、先生方、OB・OG、保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。新チームになっても、練習できることへの感謝を忘れず、一丸となって頑張っていきますので、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

編集後記

最近、スマートウォッチなるものを買いました。よく歩いたりランニングをしたりすると、「よく頑張りました!」と表示したり、バイブレーションしたりしてくれます。この歳になるとほとんど褒められることはなくなりまして、唯一褒めてくれるパートナーかもしれません。なんとなく気分がよくなり、よく歩くようになりました。やっぱり人は褒めて育てないといけないと改めて感じました。皆様のご寄稿お待ちしております。編集担当連絡先: toinbcb@gmail.com

# 桃陰バスケットボール

## クラブだより



### 天王寺中学・高校バスケットボール部は 2024年に創部百周年を迎えます

#### 創部100周年祝賀に向けた会員ネットワーキングの構築

桃陰BBC会長 萩原 啓司(高27期)

2020年初頭の新型コロナウイルス感染症を起点として、世界中に感染が拡大し、日本においても5回に及ぶ感染の拡大と収束が繰り返されている現状です。2021年夏の第5波では、医療危機が叫ばれ治療を十分受けることができない状況が生まれました。ようやくワクチン接種が進み原稿を記述している段階では、全国的に新規感染者数が減じ行動制限も大きく緩和された状況になっています。

このような新型コロナウイルス感染拡大により、桃陰バスケットボールクラブにおきましても、総会の中止、新年コート開きが開催できず、会員の皆様に親睦を深めていただくような行事が行えていない状況となっておりますことお詫び申し上げます。天王寺高校同窓会も今年度は対面での総会ではなく、リモートでの会合並びに後日閲覧できるオンデマンドの形式で、開催されていることについては皆様もご存知の通りです。多くの企業においては、新型コロナウイルス感染拡大の対策として、リモート勤務の制度化がなされましたが、ポストコロナにおいても業務内容に応じてニューノーマルなワークスタイルを検討する企業が多く存在しています。我々桃陰バスケットボールクラブも、ポストコロナ時代を見据えて新たなネットワーキングの方法を模索すべきタイミングかもしれません。

さて、天王寺中学・高等学校バスケットボール部は、来る2024年に創部100周年を迎えることになっており、本年10月23日に開催しました役員会においてもどのように進めるべきかが議題に上がりました。まだ具体的な計画については未着手ですが、多くの会員で祝賀できるような体制づくり、会員のネットワーキングの基礎を固める必要性が確認されました。桃陰バスケットボールクラブ(OB・OG会)の会員は、名簿によりますと、天中から天高73期生(2021年3月卒業)までの1254人(物故者を除く)となっております。住所が分かっている会員が956人で、約25%の会員の住所が把握できておりません。桃陰BBCでは、独自で会員管理を行っておらず、天王寺高校同窓会から名簿の提供を受けているのですが、皆様の住所変更が同窓会名簿に十分に反映されていないことが原因と推定されます。そこで、各期の代表を選出いただき、その代表者の方を中心にSNS等を利用して各期のメンバーと繋がる連絡網を構築していきたいと考えております。各期のキャプテンをはじめとする皆様にご協力をお願いして進めさせていただきたく存じます。どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

### 2022年新春コート開きの中止のお知らせ

例年1月に定期総会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を勘案し、本年度に続き中止することとさせていただきます。今後の状況はまだ不明ですが、いつの日か新春コート開きが開催できることを願っております。

また、創部100周年に向けての企画についてご意見ありましたら、桃陰バスケットボールクラブ事務局までお知らせいただけましたら幸いです。

事務局連絡先: [touinbbc@gmail.com](mailto:touinbbc@gmail.com)

#### 新役員紹介

##### 常任幹事

上向 正浩 (高41期)

常任幹事に任命されました上向正浩(高41期)と申します。現在は、「メンションのことならわかるんだ、タラタタタタ」の株式会社社長谷工コーポレーションに勤務しております。所謂ゼネコン営業を長くやっておりまして、現在は営業企画部で、営業の役員から新入社員までを相手に様々なサポートを行っております。



吉野先生を囲む忘年会 (2019年年末 於 大阪)

在校中、顧問の吉野先生に体育の授業を3年連続で、さらに3年生時には担任もしていただきました。たまたま現役で大学合格したこともあり、吉野先生から女バス(当時は経験者の顧問がいなかった)のコーチをやって欲しいと依頼され、断れるはずもなく引き受けることになりました。自由にやったらいいとは言われたものの、自らのプレー経験があるだけで何を教えていいものやら全くわからず、先々代、先代コーチの河越さん(37期)、土井さん(38期)にはコーチ業について、また鬼籍に入られた大磯さんには様々な面で多大な協力を賜りました。他校に比べて圧倒的な低身長チームでしたから、全ての基本のフットワーク、ディフェンスはダブルチームからのローテーション、オフフェンスは外角シュートを徹底して練習しました。新米コーチにもかかわらず、当時のプレーヤー、マネージャーは良く付いてきてくれたと感謝しています。

大学卒業後はバスケットボールとは暫く離れていましたが、会社の先輩でもある保田さん(36期)にお声かけいただき、実業団バスケットに参戦。まずまずの実力チームで後輩に素晴らしいプレーヤーがいました(川妻先輩(35期)も素晴らしいです)。近畿大会や全国大会にも出場でき、良い思い出です。

また、私たちの代は先輩後輩に恵まれたこともあり、年末年始に前後5代くらいが集まり、吉野先生にもお越しいただき、宴会を開催しております。コロナ前の直近では20名以上が参加してくれました。高校卒業後も多くのOB・OGに関わっていましたので、100周年に向け、少なくとも自らの前後はしっかり取り纏めます。あと、家庭内には低身長チームの一員がおりますので、一緒に参加します。よろしく願いたします。

#### 常任幹事

牧 美由紀 (高58期)

この度、新役員にご任命いただきました、高58期 牧美由紀と申します。同期の末利からのバトンタッチという形で、私などにとまるのかは不安で仕方ないのですが、何事も挑戦と考え直し、一生懸命取り組んで参りたいと思います。

さて、私事で恐縮ですが、私は今、泉佐野市立第三中学校にて、保健体育科

教諭として働いております。転勤一年目の現在、中一の学級担任、女子バスケットボール部の顧問も勤めさせていただき、慌ただしくも楽しく充実した毎日を送っております。私自身、高校時代にはキャプテンとして、この「桃陰BBCだより」を書かせていただきました。あれから約15年・・・昨年、前任教で担任した生徒が天高に合格致しました。教え子が後輩になるのは初めてで、合格発表の日には喜びを自分のことのように分かちあいました。残念ながらバスケット部の生徒ではないのですが、半年たった今は友達にも囲まれ、楽しく充実した高校生活を送っているようで、嬉しく思います。

私は「指導者になりたい!」という一心で、高校卒業後は筑波大学体育専門学群に進学しました。しかしそこは日本一をめざす超一流のチームで、身長、運動技能、バスケットボールの技術:何をとっても周りに通用するものはありませんでした。でも、途中で投げ出すことなく学生時代を乗り越え、大学院への進学も叶えられたのは、天高での三年間で一途に努力することを学べたからだと思っております。この「一途に努力する」ということは決して自分一人の力ではあるものではありません。家族や先生はもちろん、時に厳しくも温かく接してくれる先輩方、自分たちを信じてくれる後輩たち、そして何より同じように目標に向けて努力する仲間が存在に支えられ、「努力」が成り立つのだと思います。高校時代からそういった支えに気づくことができていたとは決して思えません、今思うと天高で過ごした三年間は大変幸せな時間だったと感じています。

今、現場では、年々部活動への風当たりが強くなり、「ブラック部活」という言葉すら生まれています。しかし、そんな風には負けず、私を育ててくれたバスケットボールという競技、またバスケットボール部としての活動を地道に続けていきたいと思っております。また、弱小チームではありますが、卒業生のみならずがご指導されているチームと練習試合や合同練習等もさせていただきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

バスケットボールによる縁 乾 英夫 (高25期)

10月23日に(Zoomミーティング)で開催された桃陰バスケットボールクラブ役員会で、三好幹事長より突然、本桃陰BBCだよりの原稿を依頼され、生来の「頼まれたことはよお断らない(断れない)」悪い癖が出て原稿を引き受けることとなりました。桃陰BBC Web <https://sites.google.com/site/touinbbc/>に過去の「桃陰BBCだより」が掲載されているので参考にして下さいとの事、早速開いてみますと懐かしい先輩、後輩、同期の皆様による記事が満載!!で、ついつい読み耽ってしまい、肝心の筆が進みません。懐かしい体育館や春の合宿、コーチの先生・諸先輩方の事々々思い出が皆すでに書かれています。



1973年(昭和48年)卒業時の同期は主将の谷善友、宇田将司、大西徹夫、吉田幸司(敬称略)と私の5人での期でも同じだと思いますが、入学以降10人以上いたメンバーが続けていけば、2学年下の萩原現会長のよう大阪府3位も夢ではなかったと。結果は3回戦で優勝チームの淀商に完敗しましたが。コーチをして頂いた2学年上の大和田先輩や1学年上のキャプテンで現在も現役プレーヤーの竹村先輩はじめ諸先輩方の愛あるご指導のおかげで、鍛えられたディフェンスを駆使しまとまりのある良いチームであったと自負しております。当時はインターハイ予選終了まで現役で、国体予選は新チームで臨み2学年上の大学1回生の先輩がコーチにあたるが多かったと記憶しています。私は卒業後薬剤師の父の勧めもあり、また長男でしたので家の薬局(当時は住居と店舗が同一であることが普通でもありました)を継ぐのも当然だと考え、京都薬科大学に進学しました。現在薬学部は高度な医療に対応できる薬剤師の養成を目的に6年制になりましたが当

時は4年制でありました。そこで人生の伴侶と出会うのですが、彼女は彦根東高校卒業でインターハイ出場のエースで、結婚して43年になりますがいまだに頭が上がりません。

さて1973年度の新チームのコーチを男子は吉田、女子は大西が引き受けたのですが、国体予選前のしばらくの期間、男女の両チームのメンバーと毎日のように練習で一緒に汗を流すことになり、パチンコで獲得したカルピスなどを持参して、よき先輩をさせていただいたことが今も忘れられない思い出となっています。これも大和田先輩に練習帰りにお好み焼きに誘っていただいたり等諸先輩の振る舞いのおかげだと考えています。またご本人は覚えておられないかもしれませんが、私が高校1年生から2年生になる頃にあまりの学業成績のふがいなさに、同期も次々退部したこともあり進路の相談を加藤先輩(現副会長)にさせていただいたことがあります。「部活をやめても自分自身の行動が変わらなければ

成績も向上しないから、折角バスケットボールをやっているのだから続けた上で勉強を頑張ってみては」といったアドバイスを頂いたと記憶しています。自分の行動のなせる業、学業の成績は残念ながらでしたが、バスケットボールを続けたおかげでよき人との多くの出会いがあり、充実した人生を送れていると実感しております。若い人々には、辛いことも他のことと比べて少しの努力で楽しく続けられることを大切にして頂きたいと思えます。

大学を卒業後、住吉区我孫子で乾菓局を開局し41年になり、いろいろなご縁もあつて現在、大阪府薬剤師会の会長をさせていただいております。薬局薬剤師の大先輩で恩師の故目谷義男氏から桃陰BBC役員にお誘いを受けてから20数年、忙しさにまかせて皆様のお役に立てず申し訳ない気持ち一杯で今回も役員を引き受けさせていただくこととなり、2024年の創部100周年に向け微力ではありますが何かのお手伝いが出来たらと考えております。

同期の仲間とは年に数回飲みニケーションを行っていますが、この2年コロナ禍で会えていません。医療従事者として今回のパンデミックの1日も早い収束に、国民の安全・安心に貢献したいと考えております。桃陰BBCの皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、創部100周年を一緒に祝う日を楽しみにしております。



昭和48年卒業アルバムより

## 現役だより

男子バスケットボール部 顧問 濱岡 武史 先生(体育)

深秋の候、桃陰バスケットボールクラブの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、バスケットボール部の活動にご支援・ご声援いただきありがとうございます。今年度は、支援金を活用し、「天王寺」のネームが入ったリバーシブルを購入させていただきました。

春の大会では、休校のために4回戦が不戦敗となり、3年生にとつては、不完全燃焼で終わるかたちとなりました。その中で、5名の3年生が引退をせずに、ウィンターカップを戦ってくれたことになりました。

依然、世の中の状況は厳しく、不安定でありました。公式戦に向けて、夏場の練習であつても常にマスクを着け練習をしていました。

8月末から開始される大会も延期となり、9月末からの実施となりまし

た。もう棄権は絶対にしたくないという思いで、顧問も選手も日々過ごしていました。結果としては、3回戦敗退となりました。私学の強豪箕面自由学園に点取り合戦の末に敗北しました。結果はどうあれ、負けて悔し涙を流せたことがよかつたのかなと思えました。

新チームは、2年生8名(マネージャー1名)、1年生11名(マネージャー2名)と少し例年に比べると部員が少ないですが、次の大会に向けて頑張っています。

女子バスケットボール部顧問 松本 勤 先生(体育)

平素より女子バスケットボール部の活動に対しご理解、ご協力していただき誠にありがとうございます。

この半年間も新型コロナウイルス感染拡大の影響で思う存分練習の出来ない日々が続きました。WC予選も日程を少し延期することでなんとか試合をすることができました。試合結果報告はキャプテンの相良から行うので私からは2点、話させていただきます。

1点目は、前キャプテンの角田がWC予選まで残ったことです。私がこの天王寺高校に来てから初めてのことでした。ほとんどの生徒が国公立進学志望なので、IH予選で引退することになっています。その中でも後輩たちとバスケットボールがしたいという思いで残ってくれました。

彼女がいてくれたことで、技術面でチームを引っ張るだけでなく技術面以外のところでも後輩を成長させてくれました。この文章では表すことのできないぐらいチームに貢献してくれました。本当に感謝しています。

2点目が副顧問の伊藤(バスケットボール経験者)の存在です。副顧問になつていただき1年半になります。伊藤は、担当教科が数学科なので日々講習や調査が多い中、時間を見つけては練習に来ていただいております。土日の練習はTシャツバスパン姿で欠かさず体育館に来て指導を手伝っていただいております。特に審判に関して向上意欲が高く、進んでライセンスを取りに行ったりしているので練習試合や付き添いなどでもしていただき助かっています。日々意欲的に参加し、チームのことを共に考えてくれる大事なチームメイトの一人です。

最後に今年は大阪ベスト16を目指してやっています。まだまだ足りないところが多いのでそこは日々の練習で培っていきます。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

75期 男子主将 樋口 慶太

75期男子バスケット部の樋口慶太です。私たちの部活は大阪府ベスト16を目指して練習に励んでいます。1つ上の学年では、コロナウイルスによる休校で、新人戦、インターハイ予選と立て続けに不戦敗の結果に終わり本

当に苦しく、立ち直るのにも時間がかかりました。また、前回のウィンターカップ予選では、3回戦に箕面自由学園と当たり、強力なシュート力とディフェンス力を前に負けてしまいました。ただ、全員が最後まで諦めることなく戦い抜くことができ、新チームに

関しては新しいチームに向けて良き3年生の姿に刺激をもらうことができました。今年もコロナで不安ですが、自分たちの満足できるように、精一杯練習

習して、試合に望みたいと思います。

また、今回のチームは前回ほど身長が高いわけではなく、練習の環境も恵まれてるわけではありませんが、練習の質とチームワークを大事にして一人一人がチームのためにベストを尽くせるような魅力的なチームを目指しています。また、ベスト16を取るには、シード権を持った私立の高校が相手になります。そのチームに今年は絶対に下克上を起こします！なのでこれからもご支援のほどよろしく願います。

75期 女子主将 相良 春希 副将 八木 萼

いつもご支援いただきありがとうございます。

私達は9月中旬に行われたウィンターカップ予選に臨みました。相手は信太高校で非常にバランスのとれたチームでしたが、相手のペースに飲み込まれることなく、自分たちの戦いができたと思います。接戦の末、結果は惜しくも負けてしまい、非常に悔しかったです。しかし、コロナウイルスの影響により様々なことが制限される中で、一人ひとりが自主的に行動し、チームの勝利のために準備したこと、またそれを十分に発揮できたことは私達にとって大きな励みとなり、チームとして一歩前進することができました。

現在、私達は最終目標ベスト16を目指し日々活動しています。このような状況下で多くの「当たり前」が変化した今、私達が変わらず目標のために部活動に取り組む事ができているのは先生方、OB・OG、保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。私達が多くの方々の尽力によって支えられていることに感謝を忘れず精進していきたいと思うので、これからもご支援お願いいたします。

過去の記録 三好 哲也(高34期)

本桃陰BBCだよりにおいても、現役諸君の戦績を皆様に報告させていただいています。私学全盛の時代の中で、インターハイ予選で男子部は、中央大会に出場することもあり、近年、優秀な戦績を残しています。私たちOB・OGにとつても非常に嬉しく誇り思える戦績ではないでしょうか。そんなこともあり、私たちの現役時代の頃の戦績はどうなっているのかの疑問を持ち、インターネット検索を試みたところ、大阪高等学校体育連盟バスケットボール部発行の記録誌「籠球」を発見しましたので、情報を共有させていただきます。創刊号(昭和35年度)から26号(昭和60年度)までの籠球が左記サイトに掲載されています。ご興味ある方は是非ご覧ください。現役時代の資料がございましたら、是非、事務局に共有をお願いいたします。

○ 「籠球」 バックナンバーへのリンク

<http://bbsaka.com/kyu/index.htm>

○ 大阪高等学校体育連盟バスケットボール部サイト

<https://high-osakabasketball.jp/>

## 編集後記

ようやく、コロナ感染拡大もひと段落して、繁華街にも人が戻っている。ニュースが流れています。この2年の自粛モードで様々な生活様式が大きく変化し、「ニューノーマル」と呼ばれ定着しているところもあるようです。学術関係の会議や研究会なども対面が前提でしたが、インターネットを利用した遠隔会議や講演会も可能となり、逆に参加者が増加した会議や研究会もあります。先日開催された桃陰BBC役員会議もインターネット利用で、様々なところから参加されました。リアルよりもバーチャルが当たり前の生活が直前に迫っているのかもしれない。何か情報がありましたらご寄稿お願いいたします。編集担当連絡先: [townbbc@gmail.com](mailto:townbbc@gmail.com)

## 現役の戦績

令和3年度第74回大阪高等学校バスケットボール選手権大会 2021.9.18~10.3

### 男子

天王寺 ○ 91-25 ● 扇町総合  
天王寺 ○ 84-63 ● あべの翔学  
天王寺 ● 81-101 ○ 箕面自由

### 女子

天王寺 ● 40-55 ○ 信太

# 桃陰バスケットボール クラブだより



## 天王寺中学・高校バスケットボール部は 2024年に創部百周年を迎えます

### 創部100周年に向けて

桃陰BBC役員会より

前号(令和三年秋号・第四十九号)より皆様の目に触れるようになりまして、2年後の令和6年(2024年)に天王寺中学・高等学校バスケットボール部が創部100周年を迎えます。どんなイベントにするか、企画について役員会ですでに議論をスタートしていますが、現時点ではリアルでの開催を想定している記念式典に加えて、デジタル技術を活用することで「身近に触れられる100周年」といった各種の端末(パソコン、タブレット、スマートフォンなど)からアクセス可能な仕組みも取り入れたいと考えています。リアル+デジタルで、より多くのOB・OGの方々に100年の歴史と現役の活躍を感じ取っていただけるものを作り上げていきます。

事務局連絡先: touinbbc@gmail.com

### リレーエッセイ: 女バス

工藤 (旧姓: 井坂) 保子 (高37期)

今回、女バスリレーの第一走者を担当させていただきました。37期のコートネーム「ボン」です。私たちの代は、キャプテンのアベッチを中心に、プレーヤー7名、マネージャー2名で活動しており、そのうち私を含めた3名(チカ、ユッチ)が東生野中学出身と一大勢力?を占めておりました。

さて、今回はその中学の部活動が2023年から「週末の部活動が段階的に地域へ移行する」という転換期を迎えていることについて話題提供をさせていただきます。この発端は教員の働き方改革によるもので、スポーツ庁が2020年9月「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」を取りまとめたことによりです。

スポーツ庁が実施した「運動部活動等に関する実態調査」2018年

では、  
・中学生の9割、高校生の8割が部活動(運動・文化)に加入していること  
・中学校の9割が教員に部活動の顧問になるよう求めていること  
・資格を持っていない顧問は、中学で6割、高校で5割いること  
・教員の5割が「校務が忙しく思うような指導ができない」「自身の心身の疲労や休息不足」などの悩みを抱えていること  
が報告されています。また、(公財)日本スポーツ協会が実施した「学校運動部活動指導者の実態に関する調査」2021年では、実技指導に自信がある指導者は中学3割、高校4割にとどまることが報告されています。

この様な現状を踏まえ、いよいよ中学校の運動部活動を地域で支える方向性が打ち出されました。併せて中学校の全国大会も、学校以外の地域クラブでも参加が可能になるような検討が進められています。  
一方、地域移行には課題が山積みです。休日に想定される受け皿としては、総合型地域スポーツクラブや民間クラブ・道場、地域の運動教室、プロリーグのユースクラブの他、民間事業者の新規参入が挙げられますが、

全国各地域で

・現実的に受け皿となりえるのか。  
・休日の活動に対する保険はどこが補償するのか  
・会費は現状のまま大丈夫なのか  
・指導者の質は担保されるのか  
また、部活動を指導したい教員にとっては、兼職兼業の手続きを行ったうえで自身の居住地の中学校であれば指導の継続が可能という制限追加など、多くの解決すべき点があります。

これまでに部活動の地域移行の試みは何度かありましたが全て失敗に終わっているにもかかわらず、今回は強制的に移行が進められる印象を受けます。ただ、そうであったとしても全国の各中学校の部活動関係者は、生徒にとって何が一番得策なのかを考える時間を与えられたと捉えていただきたいと思います。バスケット界の現状をみると、学校の部活動には所属せずBリーグの下部組織や地域のクラブで活動している中学生、高校生もいて、バスケットへの関わりが多様化しています。子ども達が充実したバスケットライフを送れるように、各地域の実情にあわせて試行錯誤する時期に来ているのです。

最後に本件の識者の言葉を紹介します。今回の政策は「学校運動部の終わりであり地域運動部のはじまり」とのこと。その言葉を胸に、各関係者が検討と議論を進めていただければと思います。私もスポーツ振興に関わる立場として、できることを遂行していきたいと思えます。  
(次号のエッセイはどなたにバトンが繋がるか、乞うご期待!)

### 新企画 リレーエッセイ



写真: 懐かしのアリーナ(上)とサイドリング(下)

### リレーエッセイ: 男バス 「変わらないものがある幸せ」

中田 剛史 (高43期)

皆さん、こんにちは。このOBリレーエッセイのトップバッターにご指名頂きました。43期キャプテンの中田と申します。トップバッターで何を書いたものか、と悩みつつかつ高校時代の思い出を振り返っております。

高校を卒業して早30年以上の月日が流れ、いつの間にか50歳の中高年オヤジになってしまいました。長女が3年前に74期生として天高に入学し、女子バスケットボール部に所属したことをきっかけに、久しぶりに高校に行く機会に恵まれました。

青春時代を過ごした高校訪問にワクワクしていましたが、いざ行って見た第一印象は、「あれっ?こんなんやっつたっけ?」。我々が卒業した後、校舎の建て替えがあり、元々グラウンドだった場所に校舎が建ち、校舎だった場所がグラウンドになり、記憶の中の学校とは全く逆の配置になっています。正門の位置も変わり、思い出溢れるはずの場所に立っても、昔はここに何があったのかも思い出せず、変わりゆく世界をちよつと寂しく感じました。あの、歩くとポコポコいう廊下も、トイレに行くのになぜか階段を下りて上らないといけない不思議な造りの校舎も、妙に落ち着けた

半地下の部室も、もうないのか...

しかし、現在の正門を入って一番奥にある体育館だけがあの頃のままだに存在しているのを見つけて、本当にうれしく思いました。30年前に既に相当ボロかった1階のトイレは、あれ以上はボロくはならないのか、ほぼそのまま残ってますし、あの監獄のようなだった更衣室も今も監獄のまま、階段を上ると体育教官室があって、扉の向こうには記憶どおりのアリーナが広がっていました。

体育館に入ると、一気にタイムスリップして高校生の頃に戻ります。怖い先輩のポストプレイにパスを入れ損ねた後に先輩が怒って殴っていた壁、ジュースを賭けてシュート合戦をしたサイドの練習用リング、思い出の場所に立っただけで次から次へと記憶が呼び覚まされてきます。「変わらないものがある」ということは幸せなことなんだと、感慨深くなりました。よく見ると体育教官室の前から伸びていた校舎への渡り廊下はキレイになくなっていましたし、練習の合間にのぞき込んだテニスコートも今はそこにありませんが、それでも思い出深い体育館がほぼそのまま残っていることは、体育館で長い時間を過ごした人間には本当にありがたいことです。

高校の体育館を訪れた後、どうしてもあの頃と変わらないものを食べたくなり、「あべとん」のネギ焼を食べに長女と天王寺のあべ地下へ。店の雰囲気も、マヨネーズにポン酢をかけて食べるあのスタイルもそのまま、久しぶりの「すじこんネギ焼」に味覚でもタイムスリップで高校生に戻ることができ、懐かしさを噛み締めました。長女も将来、変わらない味を懐かしく思ってくれるといいなと思います。

月日がたてばいろいろなものが変わってしまう。これは仕方ないことですが、変わらないものがある、というのは実はかなり幸せなことだと思えます。皆さん、体育館もこの先いつ、建て直しになるか分かりませんが、変わらないものが変わらないうちに、是非一度、訪れてみることをお勧めします。バスケットOBならだれもが、あの頃にタイムスリップできることと思えます。

変わらないものと言えば、次女がこの春から77期生として入学し、ハンドボール部に入ったのですが、ハンド部のコーチはなんと、我々が高校生の頃に顧問をしておられたS先生。もはや相当のご年齢と思いますが、30年以上過ぎていまだに外部コーチとしてハンド部を指導しておられるそうです。ここにも更に一つ、変わらないものがあることをうれしく思います。次回のリレーエッセイは、私の3つ上の先輩、40期安田さんにバトンパスしたいと思えます。息子さん男子ハンド部に所属されているそうです。次回リレーエッセイもお楽しみに。

### 新企画 リレーエッセイ

#### 今年度年次総会について

今年度の年次総会につきましては、コロナ対応の一環で密を避けるべく、リモート開催とさせていただきます。次年度以降は、ハイブリッド開催など状況に合わせて検討していきます。ご容赦いただけますと幸いです。

#### 桃陰バスケットボールクラブ年次総会のご案内

日時: 7月23日(土) 13時30分  
場所: Zoom(事前のインストール推奨、ウェブも可)  
以下のQRコード読み取りで参加できます  
またはZoomサイトもしくはアプリから  
左のID・パスコードを入力すると入室できます  
ミーティングID: 823 0058 4027 パスコード: 973481  
議案: 事業報告、事業計画、決算報告、予算案など



#### Zoom会議参加上の注意

・初めてZoomを利用される場合は、アプリのインストール、カメラ、マイクの利用許可が表示されますが、OKとしてください。  
・PC、タブレット、スマホでしか参加できません(ガラケーは×)  
・通信容量が1(GB/時間)消費されますので、ケータイ通信ではなくWiFi接続を推奨します。

現役だより

男子バスケットボール部 顧問 濱岡 武史 先生(体育)

平素より、バスケットボール部の活動にご支援・ご声援いただきありがとうございます。

1月の新人戦では3回戦でシード校の近大付属高校と対戦し、力の差を見せつけられ、大敗してしまいました。新人戦は東西南北のそれぞれの地区で行われ、地区のベスト8に入ると中央大会に出場できるのですが、天王寺高校のいる東地区は、力のある高校が多く、なかなか中央大会に進めず、悔しい思いをしています。

また新人戦以降は、感染力の強いオミクロン株が流行し、クラブ活動でも影響を受け、予定通りに練習ができず、また部員も揃わないような状況でした。そのような状況下でしたが、今年のチームは個人個人で努力を重ねていたので、遅いながらも4月に入って練習、練習試合を通して、チームとしてまとまり、力も一気につけていきました。

4月末から始まったインターハイ予選の初戦では、新人戦で南地区3位の信太高校と対戦となりました。序盤は緊張からくる硬さから重たいゲームとなりましたが、4Qで速攻からの得点を重ね、10点差で勝ち切る事ができました。2、3回戦は順当に勝ち上がり、4回戦で近年力をつけてきた羽衣学園との対戦となりました。結果、1点差での敗戦となりました。終盤は、持ち前の粘り強さで10点差を追い上げましたが、3Qでのミスが響いた結果となりました。やはりバスケットボールは、練習・そして試合の中での小さな積み重ねが大切なスポーツであると痛感しました。

現在は新たに新入生11名(プレーヤー9名、マネージャー2名)を迎え、気持ちを新たに活動しております。

今年度から、日本バスケットボール協会の方針により、U-18というリーグ戦が大阪でも始まっていきます。今まではまた違ったバスケットボールの文化が生まれていくのかもしれない。

女子バスケットボール部顧問 松本 勤 先生(体育)

平素より女子バスケットボール部の活動に対しご理解、ご協力していただき誠にありがとうございます。

この春に行われた総合体育大会、いわゆるインターハイ予選の結果報告

現役戦績

令和3年度 新人大阪府地区予選

<男子 東地区>

1回戦	○	71	-	57	富田林
2回戦	○	82	-	66	日新
3回戦	●	48	-	111	近大附属

<女子 東地区>

1回戦	○	153	-	23	八尾翠翔
2回戦	●	54	-	65	河南

令和4年度 大阪高校総体

<男子 Gブロック>

1回戦	○	75	-	65	信太
2回戦	○	80	-	68	清教学園
3回戦	○	81	-	59	大体大浪商
4回戦	●	67	-	68	羽衣学園

<女子 Mブロック>

1回戦	○	80	-	39	北かわち阜が丘
2回戦	○	85	-	49	東百舌鳥
3回戦	○	64	-	48	千里青雲
4回戦	●	63	-	82	信太

から行います。

4回戦で信太高校に63対82で敗戦しました。私が天王寺高校に赴任してから4回戦まで進めたのは初めてでした。この大会を機に75期の3年生は引退となります。75期には高さやスピードのあるプレーヤーが多くいて、ここ数年で一番期待していた学年でした。彼女らは1年生の時から主力として活躍しチームを牽引していました。プレー以外のところでも楽しい時やしんどい時もお互いに支え合った学年でした。

私たちは4回戦も勝ち抜いてブロック決勝に行きたかったのが本音です。信太高校との力の差があったのは事実ですが、「もっといい勝負ができたのではないか」「もっとここを強化しておけばよかった」など考えさせられました。

2か月前から生徒たちに話していたことが『メンタル面の強化』でした。気持ちが揺らいでしまい本来持っている力を出し切れないということにだけは陥ってほしくなかったからです。メンタルを強化する上でプレーヤーたちの努力も大事なことです。プレーヤーにとってどういう声掛けが一番良いのか、またその反応をみて次はこういうアプローチを試してみようなど考えてコーチングしていました。

それらのコーチングが全て正しいことかどうかはわかりませんが私自身はとにかく練習には毎回顔を出して声かけよう会話しようと思っていました。彼女らがプレーする中ではゴール下の簡単なシュートを落としたりターンオーバーをしたり、自分に自信がなくなるとパスばかり探したりというまくいかない場面も多々ありました。その中でよく生徒たちに伝えていたことが

- ・ 失敗しても良い、攻め気を持って
- ・ 相手チームも本気だからうまいこといかなのは当たり前
- ・ 全員が良い状態で良いプレーをすることは不可能
- ・ お互い支え合って乗り越えよう
- ・ この競っている状況を楽しもう

今回は、こういったプレーヤーとのやりとりをお伝えすることで、今のプレーヤーたちも本気でバスケットボールに取り組んでいることをOB、OGの皆様にもイメージしてもらえたらと思います。これから新チームとなり今までの出場機会があまりなかったメンバーたちが主力になります。先輩たちに教わったことを継承しながらレベルアップしていきます。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

75期 男子主将

樋口 慶太

私は天高バスケット部に入学して、1つ上の代ではスタメンで出させてもらい、上級生になってからはキャプテンを任せられ、本当に良い経験ができたと思います。ただ、その過程では、イライラして寝れなかったり、試合になかなか勝てなかったり、苦しい経験も本当に多くありました。

コロナで、怪我で、メンバーがそろわなかったりして、覇気のない練習に帰ってやるうかなと思ったりもありました。私自身も人の悪い所を見ても私以外の何よりもバスケが好きだったので、イライラしてもバスケが嫌いになることがなかったのは、良かったことかなと思います。一度、チームばかり見るのではなく、自分に焦点を当てて、バスケに集中することにより、より気持ちが楽になりました。

そうして私がイライラより楽しくバスケをしているとやはりチームの士気も上がり、もっと早くこうしておけばと思うこともありました。そうして、いよいよインターハイ予選を迎え、1、2、3回戦を無事に勝ち上

がることができ、4回戦に挑みました。前半は同点で終えたものの、3Qは相手のペースになり、10点差以上の差が開き、その差は4Qのラスト1分半まで詰めることができなかったのですが、ラストにチームがまとまり、あと1点差のところまで詰めたのですが、逆転することはできませんでした。

今までの感謝の気持ちを結果で返すことができません。親、先生方、OBの方々に申し訳なかったのですが、自分自身としては全てを出し切れた試合でした。コロナ禍の中、試合が行えたことも、応援する人がいたことも、自分たちにとっては良いものでした。クラブ活動を通して学んだことを大事にして、これから色々なことに活かしていきたいです。

75期 女子

主将 相良 春希 副将 木村光希・八木 莓

いつもご支援いただきありがとうございます。主将を務める相良春希と副将を務める木村光希・八木莓です。

私達は4月下旬から行われたインターハイ予選に、1年生も合わせた2人で臨みました。1回戦は北かわち阜が丘高校、2回戦は東百舌鳥高校、3回戦は千里青雲高校でした。いずれの試合も前半から自分達のペースでプレーする事が出来ました。3回戦は会場がなみはやドームだった為、観客も多く緊張してしまいましたが、お互いに声を掛け合いながら初めての大会を楽しみ事が出来たと思います。プレーヤー全員が、今まで積み上げてきた技術を惜しみなく発揮できた事は、4回戦に向けての大きな自信へと繋がっていきました。

続く4回戦目は、9月のウインターカップで惜敗した信太高校との再戦でした。相手を細かく分析し、十分な準備のもと挑みました。初めはリードを許してしまいましたが、徐々に落ち着きを取り戻し、必死にくらいつきましました。惜しくも勝利には及びませんでした。最後の1秒まで諦めず戦い抜きました。

3年生は実質の引退試合となってしまうりましたが、戦い抜く姿を見せる事ができ良かったと思います。私たちがここまで勝ち進む事が出来たのは先生方、OB・OG、保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。悔しさと感謝を胸に、新チームも精進していくので、これからもご支援をお願いいたします。

会計報告

令和3年度の収支決算および令和4年度の収支予算案をお示しします。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響は継続するものの、会費納入のご案内の会誌送付が前年度1度から春秋2度と従来通りとなったこともあり、前年度の会費収入より31円増の120口・36万円の収入となりました。その中で、お振込みいただいた会員諸氏の皆様には、感謝申し上げます。本年度も、新型コロナウイルスの影響で、活動面で制約があると思われまますが、引き続き皆様の温かいご支援をお願いいたします。

桃陰バスケットボールクラブ令和3年度収支決算報告 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

収入の部		支出の部	
予算	決算	予算	決算
通常会費	450,000	事業費	200,000
特別会費	9,730	通信・事務費	150,000
総会費	100,000	印刷費	55,000
		手数料	22,000
		総会費	100,000
		雑費	25,000
			6,055
前期繰越	1,641,841	子備費	1,639,841
合計	2,191,841	合計	2,191,841

\*注1: 事業費 200,000円  
 \*注2: 通信・事務費 春季・会報郵送料 79,330円  
 秋季・会報郵送料 78,584円  
 \*注3: 印刷費 春季・会報印刷費 10,190円  
 秋季・会報印刷費 9,260円  
 振込用紙作成費+封筒作成費 32,760円  
 \*注4: 雑費 秋季封入作業 6,055円 (会場使用料: 4,092円、フォーム1,963円)

以上の決算について、監査の結果正しいことを認めます。  
 令和4年4月26日 会計監査 新藤 光一 (高校27期)  
 令和4年4月26日 会計監査 清水 英樹 (高校34期)

桃陰バスケットボールクラブ令和4年度収支予算案 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

収入の部		支出の部	
通常会費	400,000	事業費	200,000
特別会費	100,000	通信・事務費	150,000
前期繰越	1,572,899	印刷費	55,000
		手数料	25,000
		総会費	100,000
		雑費	10,000
		子備費	1,532,899
合計	2,072,899	合計	2,072,899

# 桃陰バスケットボール クラブだより



## 天王寺中学・高校バスケットボール部は 2024年に創部百周年を迎えます

### 暫定役員体制について

本年(令和4年)7月に開催されました桃陰バスケットボールクラブ総会におきまして、暫定となる役員の変更が承認されました。役員任期は3年で本年度が3年目ということから、暫定的な体制で運営することが提案されました。

### 桃陰BBC役員会より

・会長代行…漁元 信博副会長(高26期)  
長年会長の大役を務めていただいた萩原前会長(高27期)から、一身上の都合にて退任の申し出がありました。残余期間1年を鑑み、現・副会長の漁元さんに「会長代行」としてご就任いただくことが承認されました。  
※ 会長職位は空位となります。

・幹事長…植野 健司前副幹事長(高36期)

本件は総会議案ではありませんが、三好前幹事長(高34期)の海外赴任に伴い、総会以前の役員会で副幹事長であった植野が後任となりました。

2年後の100周年に向けてしっかりと準備を進めて参りますが、引き続き、OB/OG会員の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

事務局連絡先: touinbbc@gmail.com

### 新年コート開きの中止について

### 桃陰BBC役員会より

今夏に猛威を振るったコロナウイルス(オミクロン株)もようやく終息の兆しが見えてまいりました。三年振りの新年コート開きの開催に期待を寄せましたが、インフルエンザとの同時流行が見込まれるなど不透明な状況を考慮し、先生方ともご相談の結果、今回も見送ることを決定いたしました。楽しみにしていたお楽しみが中止となりますが、ご高配賜れますと幸いです。なお、次年度以降のコート開きの開催については、現在ご相談を進めておりますので、方向性が出次第、本便りにてお知らせいたします。

### 年会費・コンビニ決済・スマホ決済のスタート

今号の送付より、年会費のお支払方法を改善いたしました。郵便振替用紙にお一人おひとり用のバーコード印刷を行い、従来方式に加えて便利な決済方法がご利用いただけるようになりました。

※ 今年度払い込み済みの方は、二重払いにご注意ください。

### 新方式…コンビニでのお支払い(コンビニ決済)

従来方式…郵便振替によるお振込みまたは会計への直接のお支払い。

※ 郵便振替につきましてもバーコード印刷化に伴って各自での記入が不要となっております。

別の紙面にて記載の通り、100周年へ向けて体制を充実させていきますので、皆様のご協力を賜れますと幸いです。

### リレーエッセイ…女バス 大阪から静岡へ 3年間を振り返って

高橋(旧姓:青田) 宣子 (高59期)

この度、37期の工藤(旧姓 井坂)先輩よりリレーエッセイのバトンをいただきました。59期の高橋(旧姓 青田)宣子です。帰省すると、桃陰バスケットボールクラブだよりが届いており、その中で先輩方や現役天高生のみなさんの活躍を拝見しております。

卒業してから、早いもので15年が経ちました。天高女バスとして過ごした3年間。私にとっては今でも大切な宝物であり、かけがえのない時間です。59期の同期生とは、卒業してからもたびたび再会し、それぞれの近況を報告しあいながら、私自身も刺激をもらっています。

私事ですが、3年前に結婚し、静岡県の磐田市へ転居しました。恥ずかしながら、それまで実家を離れたことがなく、転居してから何度も「大阪へ帰りたい」と、ホームシックになりました。夫の実家が静岡県というわけでもなく、すぐ会える距離に誰もいないというのは、こんなにも寂しいものなのかと、当時は自分の甘さを後悔したものです。

そんな中、後悔するよりは、磐田市に少しでも愛着をもてるようになりたい！とよくよするより、働け自分！と思い、磐田市役所の中途採用試験を受け、縁あって令和3年4月より職員として働き始めました。

配属されたのは、まさかの新型コロナウイルスワクチンの最前線部署。地方公務員のいろはも分からず、ワクチンやコロナに関する市民からの問い合わせ対応、慣れない業務に、昨年1年間は、100mをずっと全力疾走しているような感覚でした。何回も辞めたいと思いましたが、夫や10歳離れた同期入所の子たち、配属部署の先輩職員にも支えられ、なんとか日々を過ごしてきました。

職員として、まだまだ未熟ですが転居してきた当時よりは住んでいる街のことが分かるようになり、尊敬できる上司や職員同士のつながりもできました。また、大阪を離れたからこそ、改めて自分の育った街の良さにも気づくことができました。

この4月に妊娠が分かり、里帰り出産のため、10月から大阪へ帰省しています。もうすぐ出産を控えた今、こうした機会があったからこそ、少しスピードを落として今までのことを振り返る時間をもつことができました。これからもきつと想像してなかったことが自分の身には起こるのだらうと思います。そのたびに逢う人やチャンスと向き合いながら、前向きに過ごしていきたいと思えます。

人生、本当に何が起るか分かりません。だからこそ、楽しみもあり、幸せも感じるものなのかもしれません。振り返ったときに辛いこと、しんどいことも含め、必要なことだったと思えるよう、これからも年齢を重ねていきたいと思えます。

桃陰バスケットボール部の繋がりに感謝し、百周年の記念行事には是非とも参加させていただきたいです。今後ともよろしく願っています。

(次号のエッセイは同期(59期)の田中(旧姓:高士)弥生さんです。乞うご期待！)

### リレーエッセイ…男バス 「縁」

安田 武(高40期)

第2回のリレーエッセイを担当する40期の安田武です。自己紹介をすると、東生野中出身で大学院卒業後システムエンジニアとして主にソフトウェア開発に従事してきました。直近では、ラジオのインターネット配信サービスのソフト開発をしています。(raから始まるアレです)。

学生時代は深夜ラジオを聴きながら勉強することばかりでしたが、30年たつてそのラジオの体験が仕事に役立つことになるとは思いもよらず、

何事も経験だなと感じています。バスケットは、OBになり桃陰BBCで少しお世話になりましたが、それ以降はほぼ関わりはありませんでした。長女がミニバスを始めたこともあり触れる機会が増えましたが、親子対決で小指を剥離骨折し、もうプレーすることは諦めました。

私の高校バスケットといえばあまり特筆すべきこともなく、ただただこなしていただけのように思います。多くの先輩方が練習に参加くださり色々なアドバイスをお願いしたのですが、当時は気に留めずでした。今だと、先輩方も色んな経験を踏まえてくれたと分かるので、申し訳ない気持ちで一杯です。今でも当時の先輩方は強く強く印象に残っています。

最近の高校バスケットといえばインターネットでの配信や、大阪では試合終了後に結果速報を見ることが出来ます。今年の天高のインターハイ予選はインスタで観戦しました。4回戦では途中大きくリードを許したものの第4Qに追い上げるという展開で、結果は1点差で惜しくも敗れましたが非常にいい試合でした。私達の代は公式戦勝利なしだったので、勝ち進めたことだけで羨ましく思います。

そんな同期達と一緒にプレーした後輩達とは恩師吉野先生を囲む会をずっと開催していましたが、コロナ禍で開催もままならないため落ち着きを願うばかりです。

とはいえ、今年のGWに久しぶりに同期達と会いました。中には十数年ぶりに会うメンバーもいましたが、すぐに高校時代に話して花が咲きました。昼の同期ゴルフは初開催、夜の部で数人追加となり久しぶりの楽しい時間でした。

最近の天高に触れるようになったのは、長男が76期として天高に入学したのがきっかけでした。合格発表を見に行った時には、「安田くん」と呼ばれたその先には同期女バスの喜多(旧姓平林)さんがいました。会社も同じで、少しの間事情が飲み込めなかったのですが、子供同士も同級生になってしまいました。

長男はハンドボール部でお世話になっていのですが、特筆すべきは担任であった杉尾先生が女子ハンド部の指導者ということで、北野戦に伺い少しの時間ですがお話しと2ショットを撮らせていただきました。

ダラダラと書きましたが、天高やバスケットを通じていろんな縁に恵まれました。同期、先生、先輩方や後輩達との出逢いに感謝です。皆様、今後ともよろしく願います。

次回のリレーエッセイのバトンは誰に渡そうか思案中です。ご期待下さい。



写真: 同期(40期)のゴルフ会にて

## 【現役だより】

男子バスケットボール部 顧問 濱岡 武史 先生(体育)

平素より、現役のバスケットボール部員の活動にご支援・ご声援いただきありがとうございます。

夏の大会では、2名の75期3年生が引退せず1、2年生とともに戦ってくれました。彼らの力は大きく4回戦まで進出し、今年インターハイに出場した大阪桐蔭と対戦することができました。結果はダブルスコアとなり、大差での敗戦となりましたが、よい経験となりました。

よい経験として、1回戦の清風との試合では、3Q途中までに19点の得点差をつけられ負けていましたが、ゾーンプレスを駆使して、ひっくり返しての逆転勝利となりました。おそらく指導者になってから20点近くの点差をひっくり返しての勝利は今までに経験がなく、生徒達のがんばりのおかげで、改めてあきらめないことの大切さを学びました。

思い返せば、75期3年生が入学した時は、全国一斉休校、登校し始めたのは、6月になってから、クラブ活動を本格的に行い始めたのは7月、その後も、クラブ活動の練習時間の規制、休校による公式戦の棄権など、我慢をしなければならぬことが多々あった学年でした。

その学年の生徒達が、引退の時に後輩達に送った言葉に「練習や試合までの過程の中では、色々と思うことや心配、不満もあると思うけど、最後は濱岡先生が仕上げてくれるから、信頼してがんばれ。」と言ってくれました。指導者冥利につきる言葉で、そのようなことを思っていたのかという驚きと嬉しさがありました。思い出深い学年が巣立っていく寂しさもありましたが、次の世代の指導に対するエネルギーを与えてくれました。

現在のチームは、例年に比べると、チーム力また個人スキルも低いですが、「あきらめずに努力すれば結果はついてくる」と思いをもって、選手とともに新人戦に向けて練習に励んでいます。応援のほどよろしく願っています。

女子バスケットボール部 顧問 松本 勤 先生(体育)

平素より、女子バスケットボール部の活動に対しご理解、ご協力していただき誠にありがとうございます。

## 現役戦績

令和4年度 大阪高等学校バスケットボール選手権大会

### <男子 Hブロック>

1回戦	○	83	-	74	清風
2回戦	○	115	-	29	佐野工科
3回戦	○	65	-	49	高津
4回戦	●	55	-	105	大阪桐蔭

### <女子 Oブロック>

1回戦	○	61	-	49	花園
2回戦	○	133	-	54	東大阪大敬愛
3回戦	○	61	-	48	同志社香里
4回戦	●	29	-	127	金光藤蔭

令和4年度 大阪公立高等学校バスケットボール大会

### <男子 東地区>

予選リーグ：シード

決勝トーナメント

2回戦	●	65	-	75	みどり清明
-----	---	----	---	----	-------

### <女子 東地区>

予選リーグ：2位通過

決勝トーナメント：4位

1回戦	○	74	-	54	工芸
2回戦	○	68	-	35	花園
準決勝	●	57	-	60	生野
3位決定	●	72	-	75	東住吉

昨年に引き続き3年生が1人このウインターカップ予選まで残ってくれました。その3年生は大学では、部でやるという意思があり残ってくれました。このように高校だけでなく卒業後もバスケットボールに関わるプレーヤーが出てくることをとても嬉しく思います。またプレーするだけでなく観る楽しみ、運営などで支える、スポーツを側面からサポートするなどいろいろな関わりをもってほしいと思っています。

この夏に行われたウインターカップ予選の結果報告から行います。結果は4回戦で強豪私学の金光藤蔭高校に大敗しました。新チームで経験がないのでたくさん試合できたこと、たくさん課題ができたこと、最後は岸和田市総合体育館(公営)で試合できたことが良かったです。今後につけていこうと思います。

この大会から人数制限を設けて保護者が観戦することが可能になり、以前のような賑わいを取り戻しつつあります。まだ卒業生や部員以外の観戦ができない状況ですが、今後は解禁されることを切に願っております。OB・OGの皆様にも今の現役生の頑張りを観ていただきたいと思っております。一つ問題があります。現在1年生の部員が4名と例年より少ない状況です。生徒たちも来年度勧誘活動を頑張ると思いますが、現在SNSを用いてアピールをしようとしています。試合のダイジェスト動画などもあげています。もし良かったらご覧ください。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。  
インスタグラム  
1年生 @tbc77th 2年生 @tbc76th

## 75期 男子主将

阪本 駿大

いつもご支援ありがとうございます。

先日、ウインターカップ大阪府予選、公立校大会東地区予選が行われました。ウインターカップ予選では、2人の先輩の力も借り、ベスト32という結果を残すことができました。

その後、新チーム初めての公立校大会では、先輩方が残した4位シードからのスタートでしたが、初戦で敗退してしまいました。

結果は10点差でしたが、試合内容としては、多くの未熟な点が明確に表れていました。具体的には、ミスが多い点や、大切な場面で、積極的になりたいできなかった点です。

しかし、試合の中で、チームとして強化してきた、ディフェンスの面で流れを変えた時間帯もあり、少しずつですが練習の成果が出て来ていることを感じられました。

今年、個人のスキルという点も大きな課題の一つです。この悔しさを忘れず、積極的に朝練昼練を行い、技術向上を図っています。

また、普段の練習や練習試合の中で、より緊張感と責任のあるプレーや声掛けを意識し、心の面の強化も実行していきます。

今年から、リーグ戦も始まり、試



写真：男子 試合前の集合

合を経験できる機会が多く、とても良い刺激となっています。このようなチャンスも掴み取るため、限られた時間の中で、上達するよう頑張りますので、これからも応援よろしくお願いします。

## 75期 女子主将

石坂 橙和

平日頃、女子バスケットボール部へのご支援、誠にありがとうございます。

今年度は、2年生10名・1年生4名と例年に比べ少ない人数で活動しております。

今年度初めの目標は、「一勝」することでした。先輩方が引退してチームとしてバラバラだった春、細かいプレー面ももちろん大切ですが、ひとつひとつの勝ちにこだわり、着実に進んでいけるチームにしたいと思いい、この目標に決めました。

8月末から始まったウインターカップ予選では、3年生1名が残ってくださり、3学年で戦う最後の大会となりました。4回戦まで進出したこの大会では、各々が勝利の感覚を覚え、自分達にとって大きな前進となった大会でしたが、一方で、まだまだ連携が出来ていない部分も多く、プレー中やミーティングの際に、個々が意見をもっと出し合いコミュニケーションをとるべきだという課題も出ました。

そこで今年度から、毎日の練習後、担当の人がチームメイトを褒めるという、通称「ホメホメ隊」を実施しています。これによりチームの雰囲気は良くなるだけでなく、最近では個々が周りを見る力が養われ、意見を出すことにも積極的になっていくように感じます。

また、10月半ば〜11月にかけて約1ヶ月間行われた公立校大会では、東地区準決勝進出(公立高校大阪ベスト16)を果たすも、準決勝にて、接戦の末生野高校に3点差で敗れ、結果は東地区4位と惜しくもチャンピオン大会を逃しました。課題はやはり1Qの入りとディフェンス。夏よりは改善されたポイントでありながら、この大会で、まだまだ伸び代があるところだと気付かされました。

大変悔しい試合結果となりましたが、勝ち進むにつれチームの団結が深まるのが感じられ、それぞれの良さがたくさん見えた1ヶ月になったので、冬に繋がる濃い期間になったと思います。

まだまだ未熟なチームですが、初めの目標であった「一勝」に貪欲になることを忘れず、また、年明けの新人戦での3回戦突破を目標に、チーム一丸となって活動していきたいと思っています。

今後とも、ご理解・ご支援のほどよろしく申し上げます。



写真：女子 練習の風景

# 桃陰バスケットボール

## クラブだより



### 天王寺中学・高校バスケットボール部は 2024年に創部百周年を迎えます

令和5年度 総会の報告

桃陰BBC役員会より

令和5年7月1日以下の通り、桃陰バスケットボールクラブの年次総会を開催いたしました。100周年を含む三年間の役員体制、会計報告や予算も無事に承認されました。100周年の事業の成功と本会発展に向けて努めてまいりますので、引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

日時：7月1日(土) 13時～15時 場所：桃陰会館+Zoom  
議題：【審議】役員改選、会計報告・予算案【報告】100周年状況報告

今年度から始まる三年の任期で漁元さんを会長とする新役員体制が左記の通り承認されました。  
また会計報告・予算案についても下記の通り承認されました。

(連絡先: [touinbbc@gmail.com](mailto:touinbbc@gmail.com))

令和5年度 桃陰BBC 総会結果報告

1. 役員改選：議案承認

役職	氏名	期	氏名	期	氏名	期
会長	漁元信博	高26期				
副会長	加藤真吾	高24期	三好哲也	高34期	松岡孝枝	高35期
会計	上田茂司	高30期	原田靖弘	高28期		
会計監査	新藤光一	高27期	清水英樹	高34期		
幹事長	植野健司	高36期				
副幹事長	乾 英夫	高25期	篠塚宗敏	高26期	田中康博	高30期
	岡本貴生	高32期	杉本忠三郎	高34期	山本 理	高34期
	保田英和	高36期				
常任幹事	赤松俊雄	高36期	工藤保子	高37期	土井邦輝	高38期
	上向正浩	高41期	牧 美由紀	高58期		
顧問	辻 俊雄	中49期	木村雅英	高3期	松本 亘	高6期
	川崎 保	高10期	川北精三	高12期	大橋勝也	高15期
	岩井文哉	高17期	今津 博	高19期	志知道博	高20期
	竹村英雄	高24期	大西徹夫	高25期	萩原啓司	高27期
	多賀謙蔵	高27期	山下尚代	高27期		
クラブ顧問	濱岡武史		松本 勤			

2. 会計報告・予算案：議案承認

桃陰バスケットボールクラブ令和5年度収支予算案  
(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日) 単位：円

収入の部	支出の部
通常会費 450,000	事業費 200,000
総会費 100,000	通信・事務費 210,000
前期繰越 1,559,009	印刷費 18,000
	手数料 35,000
	総会費 100,000
	雑費 10,000
	予備費 1,536,009
合計 2,109,009	合計 2,109,009

桃陰バスケットボールクラブ令和4年度収支決算報告  
(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日) 単位：円

収入の部	支出の部
通常会費 400,000	事業費 200,000
総会費 100,000	通信・事務費 150,000
特別会費	印刷費 55,000
総会費 100,000	手数料 25,000
	総会費 100,000
	雑費 10,000
前期繰越 1,572,899	予備費 1,532,899
合計 2,072,899	合計 2,072,899

現役活動補助

春季・会報郵送費	¥ 79,800
秋季・会報郵送費	¥ 105,872
春季・会報印刷費	¥ 9,260
秋季・会報印刷費	¥ 8,260
OB連合会会費	¥ 10,000
新報連絡郵送費	¥ 1,008
春季会報封入作業慰勞	¥ 3,830

### 創部100周年記念事業について

### 100周年実行委員会より

2024年(令和6年)を迎える創部100周年に際して、実行員会を編成し、皆様とともに盛大にお祝いができるよう現在準備を進めております。現時点での概要を紙面を借りてお伝えします。

・記念行事開催日：2024年8月12日(月・祝)  
・予定行事 午前の部：記念試合、記念総会(会場：天王寺高校予定) 午後の部：記念式典(会場：都シティ大阪天王寺予定)  
・関連取組 贈答品：屋外コートや試合支援ツールなど検討中  
記念品：Tシャツやタオル等の記念グッズを検討中  
記念誌：100周年を振り返る写真やメッセージ等を編集  
寄付：右の取組に当たり皆様のご厚志をお願いいたします

詳細は後日、特別会報にてご案内いたします

【実行委員の募集】各種記念行事や取組の実施に際して、皆様のお力が必要で、一緒に準備を進めていただける方を募集いたします。左記の通り、各期の代表者にご参集いただき会議を設定いたしますので、各期より1名以上のご参加を賜りますよう、よろしくお願いたします(下記のQRコードからFORMSにて登録いただけます。)



開催日：9月30日(土) 13時～ 天王寺高校  
リレーエッセイ：女バス 「100周年リレーエッセイ」  
田中(旧姓：高士) 弥生 (高59期)

59期の高橋(旧姓 青田) 宜子さんよりリレーエッセイのバトンをいただきました。同じく59期の田中(旧姓 高士) 弥生です。59期が連続となり申し訳ないのですが、お付き合いください。  
卒業後、コート開きや90周年の式典に参加させていただき、桃陰バスケットボールクラブにお世話になりました。90周年の式典で繋がりがあった女バスの先輩方と年に一度はお会いできていましたが、コロナ禍でこの数年お会いできていません。また、59期の女バスとも集まらない数年前で、会いたい人と集まって喋りをして、笑いあって、今まで当たり前のようにしたことが、日々の力になっていただんだと改めて感じました。

この3年間新型コロナウイルスという見えない不安の中で、今までに経験したことのない生活を余儀なくされました。夏の甲子園優勝の仙台育英の監督が「青春って、すごく密」と話されていたように、高校時代を思い返すと、学校生活、クラブ活動や女バスと過ごした時間は、とても「密」な時間でした。舞台上の部室も、密な場所だったなと思います。高等学校で養護教諭として勤務していますが、学校生活では「密」になる場面も多く、感染症対策を徹底しながら教育活動を継続していくため、様々な制限や行事等の変更がありました。クラブ活動についても、活動ができない期間もあり、再開されても練習時間や対人練習の規制など様々な制限がありました。臨時休校になるとその期間にある公式戦は棄権となる時期もあり、勤務校でも前日夜に臨時休校が決まり、翌日の公式戦を棄権しなければいけないといったこともありました。

保健室では、毎日の練習で力がついてきたと実感しているところで活動が制限されて不満な気持ち、練習時間や試合経験が少なく不安や心配になる気持ち、休校や分散登校期間もあり仲間と話し合う時間も少なく葛藤する気持ち、様々な悩みを聞きました。多くの我慢をし、なかなか気持ちを切り替えられないこともあったと思います。しかし前例のない状況の中で、悩みながらも今できることを考え、工夫して取り組み、変えられないものは受け入れ、変えられるものは勇気をもって変え、クラブ活動や学校生活を過ごしてくれました。今年桃陰バスケットボールクラブの一員となられた75期生のみなさんは、入学後一斉休校、分散登校からはじまり、クラブ活動の開始時期も遅れ、それぞれが思い描いていた学校生活と違う状況となり、多くの我慢をし、いろんな思いを飲み込んできたと思います。そんな中でも、顧問の先生を信じ、諦めずにクラブ活動をされていたのだと現役だよりを拝見し、感じました。

### 新企画 リレーエッセイ

私事ですが、昨年の5月に出産し、あつという間の1年でした。4月から子どもの保育園が始まり、私自身も仕事復帰し、慣れない新生活を過ごしています。大変なことも多いですが、新しいことを発見する毎日です。変えられないものは受け入れ、変えられるものは勇気をもって変え、家族で協力しながら過ごしていけたらと思っています。  
59期女バスで同じ学年に4人出産したこともあり、昨年は何度か直接会うことができました。100周年の記念式典ではぜひ、現役生のクラブ活動の頑張りを聞いたり、今までの思い出話をしたり、みなさんで笑いあうことができると願っています。  
(次号のエッセイは56期の札幌 恵さんです。乞うご期待！)

リレーエッセイ：男バス 「恩師」

河越 雅信 (高37期)

この度、男バス40期の安田さんよりリレーエッセイのバトンをいただきました。37期の河越雅信です。大学卒業後はずっとIT業務畑で、電子カルテなどの病院情報システムに関する業務に従事しています。  
高校時代、1年次は中山先生という天高バスケット部にはめずらしく膳所高校から筑波大に行かれた国体選手がコーチとして来られていました。身長180を超えカモシカのような足とモロボシ・ダンのような(今だと大谷翔平のような)甘いマスクで高校生ながら「こんな格好の良い人も居るのだな」と憧れたのを思い出します。中山先生は1年間だけ天高にて36、37期を指導され、その後4月から松原高校へ転任されました。その縁で何度か男子、女子とも松原高校と練習試合をさせていただきました。OBになってからも練習試合にかこつけて、先生の下宿に転がり込んだりして、大変お世話になりました。

卒業後40年弱がたち、先生とは一部メンバーこそ年賀状のやり取りをしておりましたが、ずっとお会いすることはありませんでした。近年は眼が少し不自由になっていたこともあり、36期先輩のご発案で皆で中山先生のお宅へご挨拶に伺うことになりました。当初は固辞されたものの、近隣の料亭でお会いすることが出来ました。高校時代から考えると39年ぶりの再会です。

天高へは新人教師で来られて、現在は64歳になっておられました。案じていた視力はうっすらとは見えてるご様子で、皆感慨深く、すぐに当時の話題に花が咲き、40年のブランクを感じることもなく、懐かしい時間を過ごすことが出来ました。

驚くのはその後です。先生のお宅に皆で押しかけましたが、我々の現役時代の全資料がそのまま綺麗にファイリングされていました。天高だけではなくご指導された膳所、松原、他全ての高校のデータもありました。天高の資料では36期の先輩方への個別指導内容、個々の選手特性の解析情報、チームのストロングポイント等、びっしりと解析されていました。

何より、そういうデータ類を目の当たりにして、指導されたすべての高校生に対して並々ならぬ熱意でご対応されていたことを今更ながらに実感するとともに、感謝の想いが更に深まりました。

今回中山先生にお会いできて本当に嬉しく、どこか誇らしい気持ちになりました。先生から学んだこと、国体選手のものと考え方や視点など、当時も今もしっかりとバスケットには生かせなかったものの、その後の人生には大きな影響を与えています。これからも中山先生の教えや考え方を胸に頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。



写真：中山先生ご自宅近くの割烹にて

大阪大学バスケットボール部OB会・銀籠クラブの創部45周年記念事業として、大阪の伝統のある3府立高校（北野、天王寺、三国丘）が第1回阪大カップに招待され、大阪大学バスケットボール部との交流試合が実施されました。筆者は現在大阪大学バスケットボール部の総監督として活動しております。

第1回阪大カップは、3月18日（土）12時～17時、大阪大学吹田キャンパス体育館で、4チームによる総当たりリーグ戦方式（10分ハーフ）で試合が行われました。試合結果は、阪大が各高校に圧勝しましたが、高校生のリーグ戦の結果、各高校とも1勝1敗となりましたが、得失点差により、1位が北野、2位天王寺、3位三国丘となりました。天王寺は三国丘に後半追い上げましたが、2点差で惜敗し、北野にも終始リードされていましたが、2点差で逆転勝ちしました。



写真：阪大カップの試合風景

【現役だより】

男子バスケットボール部 顧問 濱岡 武史 先生（体育）

平素より、バスケットボール部の活動にご支援・ご声援いただきありがとうございます。

近年はコロナ禍での活動を強いられ、大会の棄権や活動時間の短縮、活動の停止など天王寺高校バスケットボール部もさまざまな経験をしてきました。しかし最近の社会情勢の変化により、クラブ活動の規制もなくなり徐々に思いっきり活動できるようになってきました。

コロナ禍において、合宿や遠征は実施できていませんでしたが、この3月に知人を通じて、徳島県に遠征に行かせてもらいました。たくさん徳島県のチームや香川県のチーム、四国大会で優勝している中学校と試合をさせていただき、よき経験となりました。

OB会からの支援金の一部も使用させていただきました。ありがとうございました。

さて、先日行われましたインターハイ予選では、2回戦で体育科のある汎愛高校との対戦となりました。抽選を終えた時から、2回戦が勝負ということを意識し、練習を行ってきました。映像での相手のチームの分析を繰り返し、勝負の日を迎えました。前半は10点差でなんとか食らいついていましたが、3Qでミスが続き、苦しい展開となりました。その後、連続3Pで追撃しましたが、逆転するまでの展開に持ち込むことはできず、タイムアウトを迎え、76期生達の引退試合となりました。

現在は新たに新入生11名（プレーヤー10名、マネージャー1名）を迎え、活動しております。8月末から始まるインターカップの大阪予選で1つでもトーナメントを進めるように、練習に励んでおります。

また昨年度から、日本バスケットボール協会の方針により、U-18というリーグ戦が始まりました。直近5年間の公式戦の戦績をポイント化し、成績順に振り分けられています。天王寺は、27番目に位置し、2部リーグでの戦いとなります。こちらにも注目ください。

女子バスケットボール部 顧問 松本 勤 先生（体育）

平素より女子バスケットボール部の活動に対しご理解、ご協力していただき誠にありがとうございます。

先日のインターハイ予選で76期のメンバーは引退しました。残念ながら結果は2回戦で樟蔭高校に敗退しました。

しかしこの76、77期（3年生、2年生）の学年は、抽選のくじ運が良くほかの大会では良い成績を残すことができました。また昨年度より大阪バスケットボール協会主催のリーグ戦も導入されたことでたくさん試合をすることができました。結果の詳細に関してはキャプテンから報告があると思います。

今回は「成長」というキーワードについて話させていただきます。バスケットボールは「成長」を感じにくいスポーツだと思っています。前より何点多く点を取った、リバウンドやアシストの数が増えた、ターンオーバーの数を減らせたと数字で表すこともできますが、対戦相手の強さによって得点などの数が大きく変わってきます。

成長を感じるのが難しいからこそ、私の考え方の一つで「具体的に褒める」ということを意識しています。点を取れて良かっただけでなく、ディフェンスを確認してシュートにいった、キックアウトができるようになった、これが前よりできるようになったなどの声掛けをするようにしています。

その効果だけではありませんが、76期のメンバーは1月の新人戦から4月のインターハイ予選までで個人スキルもチームとしてもかなりレベルアップしたと感じています。もちろんプレイヤーたちの努力が一番です。みんなよく悩み考え、考え抜いてプレーしていたからだと思います。

1年前の新チームになったときと今を比べると76期のメンバーは、心身ともに大きく成長した学年だったと思っています。

これからは77、78期の新チームです。そんな先輩たちの姿を見てきた彼女らもこれから大きく成長することを期待しています。

77期 男子主将

三品 幸史

いつもご支援ありがとうございます。

先日、インターハイ予選が行われました。インターハイ予選では、2回戦敗退となってしまい、76期の先輩方が引退されました。77期のプレイヤーも試合に出場する場面が多く、非常に悔しい結果となりました。

その後、77期9名（マネージャー2名）、78期11名（マネージャー1名）の新チームが開始しました。現在、大阪府ベスト16を競技目標として掲げ、活動しています。また、新チームで活動するにあたって、3つのチーム目標を定めました。

●「当たり前を当たり前に」

1つ目は日常面についてです。挨拶する、忘れ物をしない、遅刻をしない、コミュニケーションを取り合うなど、集団の一員として当然のことができるようなチームを目指します。

●「全力で」

2つ目はプレー面についてです。ルーズボールを追う、リバウンドを取る、走る、ディフェンスなど、技術ではなく気持ちでカバーできる部分を全力で取り組むと決めました。

●「責任を持つ」

3つ目は意識面についてです。プレイヤー全員が試合に出場できる訳ではありませんが、責任を持ってコートに立てるように、チームメイトから信頼されるように、全員が手を抜かず練習に取り組みます。

これらのチーム目標をもとに、大阪府ベスト16を目指して努力していくので、応援よろしく願います。

77期 女子主将

種子田 優

常日頃、女子バスケットボール部へのご支援、誠にありがとうございます。

1月上旬から始まった新人戦では、3回戦まで順調に勝ち進んだものの4回戦で負けてしまいました。しかし、中央大会決定戦に勝利し、中央大会に進出することができました。初戦で敗退してしまいましたが、大阪ベスト32となったこの試合では、セットプレーやゾーンディフェンスなどの連携プレーの成功が増え、自分達がやってきたことに対して大きな自信ができました。一方で課題もたくさん出て、引退試合であるインターハイ予選が近づいてくるにつれて、各々がそれらをより意識して練習するようになりました。全員が朝練・昼練に参加したり、ミーティングがより活発になったりと、引退に対する緊張感が高まっていくのと同時に、チームの雰囲気も良くなっていくのを感じました。

4月に行われたインターハイ予選は、1回戦は不戦勝で2回戦からとなりました。強い相手で苦戦はしましたが、試合が進むにつれ、点数を抑え、食らいつくことができました。また、以前からの課題であった1Qの入りもとても良く、各々の練習の成果を発揮できた最後にふさわしい試合となりました。2回戦敗退と非常に悔しい結果になりましたが、たくさんの方々から応援されるような最高のチームになることができました。

3年生が引退した後、2年生4人、1年生8人での新チームがスタートしました。まだまだ未熟ではありますが、チーム一丸となって活動していきたいと思っています。

今後とも、ご支援のほどよろしくお願い致します。

現役戦績

令和4年度 大阪高等学校バスケットボール新人大会

<男子 東地区>

1回戦	○	139	-	21	アナン学園
2回戦	●	41	-	48	生野

<女子 東地区>

2回戦	○	65	-	29	枚岡樟風
3回戦	○	118	-	50	金剛
4回戦	●	28	-	136	金光藤蔭

令和5年度 大阪公立高等学校バスケットボール大会

<男子 東地区>

予選リーグ：シード

決勝トーナメント

2回戦	●	65	-	75	みどり清明
-----	---	----	---	----	-------

<女子 東地区>

予選リーグ：2位通過

決勝トーナメント：4位

1回戦	○	74	-	54	工芸
2回戦	○	68	-	35	花園
準決勝	●	57	-	60	生野
3位決定	●	72	-	75	東住吉

令和5年度 大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会

<男子 東地区>

1回戦	○	59	-	46	堺西
2回戦	●	61	-	89	汎愛

<女子 東地区>

1回戦	○	20	-	0	長尾
2回戦	●	40	-	111	樟蔭

# 桃陰バスケットボール

## クラブだより



### 天王寺中学・高校バスケットボール部は 2024年に創部百周年を迎えます

#### 【現役だより】

男子バスケットボール部 顧問 濱岡 武史 先生(体育)

平素より、現役のバスケットボール部員へのご支援・ご声援いただきありがとうございます。

8月下旬から始まりました夏の大会(ウインターカップ大阪予選)には、3年生が春の大会で全員引退したため、1、2年生の新チームで臨みました。3回戦進出を果たしたものの、古豪大商学園の前に力の差を見せつけられ、4回戦進出とはなりませんでした。

この大会で印象的であったのは、大阪府の男子チームのエントリー数は200チーム以上あるのですが、1回戦が北野高校との対戦であったことです。相手も3年生が引退した新チームであり、定期戦も行う、なにかと縁のある学校との対戦となり、OBの皆様にかを言われた経験はないのですが、負けることは許されないというプレッシャーを日々感じておりました。

試合内容は、天王寺が粘り強いDFからコンスタントに得点を重ね、3Q終了時点では20点差のリードを保っていました。ここからが高校バスケの面白さと難しさが出たゲームとなりました。天王寺のシュートは入らなくなり、北野シュートはどんどん入る。ラスト30秒を切ったところでは、4点差まで縮められていました。最終、6点差での勝利となりましたが、最後までドキドキする試合をしてしまいました。まだまだ甘いところはたくさんありましたが、勝利にホッとしました。

話は変わりますが、「働き方改革」このような言葉が飛び交うようになり、数年が経ちました。今年度から大阪府の取り組みの中で、「一斉定時退庁日」というものが週に1回設定されるようになりました。本校では金曜日に設定され、教職員は17時25分には退勤をするというものです。当然クラブ活動も制限され、生徒は通常よりも約1時間早く下校するようになります。幸い、天王寺のバスケットボール部の生徒達は意欲の高い者が多いので、生徒達にとってプラスの制度ではないなど思っています。大人の「働き方改革」ももちろん大切ですが、生徒達に影響が出ていくところで進めていってほしいなと考える日々であります。

女子バスケットボール部 顧問 松本 勤 先生(体育)

平素より女子バスケットボール部の活動に対して、ご理解ご協力ありがとうございます。

11月初旬から中旬にかけて第16回公立校大会東地区予選が行われ

ました。この大会の目的は各地区試合数を増やし経験を積むということを実践しています。

しかし今年度の女バスは、昨年東地区でベスト4に入っていたため、シード権を獲得しベスト8からの戦いになりました。正直なところチーム的にもまだまだ未熟なのでたくさん試合をしたかったというのが本音です。

各地区の上位2チームは、上位チームによる東西南北のトーナメントに出場することが出来る大会でもあります。

結果は、東地区第3位でした。初戦となる準々決勝は河南高校に勝利し、準決勝で大塚高校に負けはしたものの3位決定戦で布施高校に勝利しました。東西南北のトーナメント大会まであと1つでした。まだまだ改善すべき点が多いですが、生徒たちは全ての試合においてよく頑張りました。準決勝で大敗してしまいましたが、毎年優勝している大塚高校と対戦できたことは、プレーヤーたちにとってはとても良い経験になったと思います。次の新人戦に向けてさらにレベルアップしたいと考えています。

戦績としては、今までにない成績を残しているのですが、大阪の公立高校全体としての部員不足の問題があります。大阪では私学の授業料無償化や少子化、コロナ禍での活動制限というところから部活に入部する生徒たちが少なくなっているということもです。

その結果、公立高校のバスケットボールのレベルはかなり低下しました。非常に残念です。

しかし2023年の夏、沖縄で開催されたW杯(バスケットボール)をきっかけにジュニア世代からバスケットボールの競技人口が増加しているってほしいと切に願っています。

天王寺高校の女子バスケットボール部として今後は、練習してレベルアップすることも大事ですが、新入生に入部してもらうことも大事になってきます。そのためにバスケットボールの魅力伝えることだけでなく、バスケットボール以外の楽しいイベントも実施していきたいと思えます。ちなみに今年度は久しぶりに、部員を連れて川遊びに行きました。12月末にはクリスマスパーティーも実施する予定です。

このような活動や試合結果などは、インスタグラムにて掲載しています。是非ご覧になってください。フォロー宜しく願います。



7期 男子主将

三品 幸史

いつもご支援ありがとうございます。

9月10日に行われたウインターカップ予選3回戦ではシード校である大商学園高校と対戦しました。天王寺はゾーンDFで、声を出しながら連携を取り、上手く守ることが出来ました。しかし時間が経過するにつれ、3Pシュートを相手のリズムで打たれ、リバウンドも取りきることができず、徐々に点差を広げられ、敗退してしまいました。

また、11月4日に行われた東地区公立校大会決勝トーナメント2回戦では八尾高校と対戦しました。この試合では立ち上がり非常に

悪く、焦ってしまい自分たちのバスケットができませんでした。後半追い上げましたが、前半の結果がそのまま結果となってしまい、非常に悔しい敗退となりました。

課題点として、基本的なことができていないということが挙げられます。パスの強さ、レイアップやゴール下の成功率、判断。練習でもこれらが欠けているように思われます。逆に今まで練習してきた速攻は成長を感じられました。当たり前ですが、練習でしていることが試合に反映されるということを、改めて感じました。現在のチームの雰囲気は良く、声を出して練習に取り組みれています。新チームが開始した頃に比べて、プレーヤー同士のコミュニケーションも取るようになってきました。敗北を機により一層努力していくので、これからも応援よろしくお願いします。

7期 女子主将

種子田 優

平日頃から、また100周年に向けてのご支援、誠にありがとうございます。

8月末に行われたウインターカップ予選では、最初から最後まで接戦の末、惜しくも7点差で負けてしまい、初戦敗退となりました。しかし、夏休みの練習で培ったチームワーク、個々のスキルが輝いた試合でした。消極的なプレーが課題でしたが、全員が以前よりも積極的にプレーすることができ、負けてしまったものの良い経験となりました。

また、11月初旬に行われた公立校大会では、4位シードからのスタートでした。新チームになってからおよそ半年が経ち、チームの団結力がより強まり、とてもいい雰囲気です。試合に挑むことができました。

初戦は勝利し、決勝リーグまで進出しました。1試合目は負けてしまいましたが、3位決定戦では、練習の成果を十分に発揮することができ、接戦の末勝利し、3位になることができました。みんなが自分たちは強くなったと感じられるとても良い試合でした。

これからは、新人戦に向けて頑張っていきたいと思えますので、今後ともご支援よろしく願います。

#### 現役戦績

##### 令和5年度 大阪高等学校バスケットボール選手権大会

(ウインターカップ予選)

##### <男子 Dブロック>

1回戦	○	70	-	64	北野
2回戦	○	73	-	49	春日丘
3回戦	●	49	-	79	大商学園

##### <女子 Nブロック>

1回戦	●	81	-	88	鳳
-----	---	----	---	----	---

##### 令和5年度 大阪公立高等学校バスケットボール大会

##### <男子 東地区>

##### 予選リーグ Fブロック 第1位通過

1組目	○	130	-	36	工芸
2組目	○	58	-	54	日新

##### 決勝トーナメント

1回戦	○	91	-	48	大阪ビジネスフロンティア
2回戦	●	53	-	89	八尾

##### <女子 東地区>

##### 予選リーグ シード

##### 決勝トーナメント：3位

2回戦	○	106	-	27	河南
準決勝	●	31	-	124	大塚
3位決定	○	82	-	74	布施



# 天王寺中学・高校 バスケットボール部 祝創部100周年

★★ 天王寺中学・天王寺高校バスケットボール部は、2024年（令和6年）に創部100周年を迎えます ★★

100周年のWEBページはココ → → →



創部100周年記念事業について（100周年記念事業・実行委員会）

【記念試合ならびに記念式典】

開催日：2024年8月12日（月・祝）

＜午前の部＞ 記念試合、記念総会（会場：天王寺高校）

＜午後の部＞ 記念式典（会場：ホテル都シティ大阪天王寺）

【関連取組】

＜記念品＞ 100周年記念Tシャツ

＜贈答品＞ 屋外移動式リングや試合支援ツール（バスケプラス）など

＜記念誌＞ 100年を振り返る写真やメッセージ等を編纂

＜寄付＞ これらの取組に当たり皆様のご厚志をお願いいたします

寄付の趣意書を本会報に同封しております。ぜひご覧ください。

【事務局からのお願い（連絡先：[touinbbc@gmail.com](mailto:touinbbc@gmail.com)）】

- ・各種記念行事や取組の実施に際して、皆様のお力が必要で、一緒に準備を進めていただける方を募集いたします。
- ・各期代表の空白期の連絡先をご存じの方は、事務局へご連絡ください。現在の各期代表は Web ページ各期代表のページをご覧ください。

## 100周年を記念して現役のために！ ～ 贈答品と寄付について ～

寄付のお願い  
目標 200万円

### バスケットゴール移動式



バスケットゴール移動式 アルミパンチング（一般用）

体育館が使えない時でも  
シューティングやスモールゲームを！



### B2 データバスケットを極める [BasketPad2]

データバスケットって…

バスケットは確率のスポーツです。自分のポジションからどのポイントのシュート確率が高いのか、今日の試合で誰がスリーポイントシュートを決めたのか、誰がリバウンドを多く取ったのか？今まではなんとなく記憶を辿りながら、誰が強かったなどの単発的な記憶とランニングスコアしかありませんでした。しかし、3ヶ月前より、こんなにシュート確率が上がったとか、リバウンドが取れるようになったなど、データで自分の進歩を知ることができれば、もっとバスケットに対するモチベーションが上がるのではないでしょうか。また、対戦相手のポイントゲッターを抑えるためのディフェンス戦略や相手を決める戦術がわかれば、どんなチームが強くなっていくはず。



バスケットパッド2の実力

スマートパッドにプリインストールされたデジタルスコアブック「バスケットパッド2」はタッチパネル式のスタックシステムにより、従来の得点やファールだけのランニングスコアでなく、シュートポジションやリバウンド、スチール、ターンオーバーなどのボックススコアをリアルタイムに確認することができます。タイムアウト時に解析データを知らなければ、瞬時に次の作戦へ活用できるため、ゲーム展開を飛躍的に進化させることができます。また、バスケットパッドの試合結果はコミュニティサイトのバスケプラスサービにアップロードすることで、最強のパフォーマンスを発揮します。過去のデータと合算したり、対戦相手だけのアーカイブしたり、個人データだけを抜き出して表示したりすることも可能。もちろんデータはチーム内で保持されますので、チームにとって貴重な財産となることでしょう。

時代はデジタル。得点だけでなくポジション別シュート率など  
データバスケットで効果的にチーム力を強化！

詳細は同封の趣意書をご覧ください。  
皆様のご厚志をお願いいたします。

【寄付担当】

- 34期 山本 理
- 35期 岡本 敏弘
- 37期 工藤 保子

【贈答品担当】

- 24期 加藤 真吾
- 72期 島崎 乃斗夏
- 73期 元村 夏月、石田 麻奈美
- 74期 田中 翔虎、角田 結奈

## 100周年記念Tシャツで創部100周年を祝おう！

～ 記念品部会からのプレアナウンス ～

詳細は2024年1月末案内予定



関西の高校・大学で最も古い歴史・伝統をもつ天王寺中学・天王寺高校バスケットボール部。創部100周年を皆で盛大にお祝いしたいと思います。

我々、記念品担当部は100周年記念Tシャツを企画しました。

記念試合・記念式典（8月12日（月曜、祝日）開催）に、このTシャツを着て参加するのもよし！式典に参加できなくても記念Tシャツを着て100周年のお祝い気分を共有していただいたり、

これからも天王寺高校バスケットボール部の発展を願い、桃陰BBCは引き続き現役生を支援していきます。何卒ご協力、ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

Tシャツの素材・デザイン・プリントのクオリティにかなりこだわり、何度も話し合いを重ねました。

素材（綿・Tドライ）、色（白・紺）、デザイン（2パターン）を各々、ご自身のお好みにより選択できるように企画しています。

運動・普段着など目的別に、あるいはご家族と一緒に等、

【記念品担当】

- 35期 松岡 孝枝
- 38期 渡邊（小倉）由紀子・友井 君子
- 40期 喜多（平林）晶子・有吉 由紀
- 41期 長尾（福田）康子・三木 典子
- 54期 稲葉 圭吾

# 桃陰バスケットボール

## クラブだより



天王寺中学・高校バスケットボール部は  
2024年に創部100周年を迎えます

### 【現役だより】

男子バスケットボール部 顧問 濱岡 武史 先生(体育)

桃陰バスケットボールクラブ総部100周年、誠におめでとうございます。

このような記念の年に、伝統あるクラブに携わらせていただけたこと、うれしく思います。

私自身、長く天王寺高校のバスケット部の顧問を務めさせていただいて、今年度で13年目となりました。

赴任した当時、掲げていた大阪府ベスト8に入り、近畿大会に出場するという目標は残念ながら未だに達成できていません。

振り返ると、大阪府ベスト16に入った70期、72期、おそらく最もベスト8に近かった74期(コロナウイルスの影響で、ベスト32で棄権)と、結果の出た学年もあれば、力があっても早々に敗退した学年もありました。結果はさまざまですが、個性豊かで、一生懸命頑張れる子どもたちと過ごした日々は充実したものでした。

ただ近年はなかなか結果を残せていないという実情もあります。今年度の大阪インターハイ予選では、77期は4回戦で敗退となりました。

私学高校の授業料無償化が打ち出されて、公立高校へ進学する子供の数は、減ってしまいました。天王寺高校は、直接的な影響があったわけではありませんが、こんな時代だからこそ、もう一度今の生徒達と結果にこだわり、チャレンジしたいと思っています。公立高校であっても、練習時間・練習環境に規制があっても、勝てる強いチーム、そしてみんなから応援されるチームになりたいと思っています。

桃陰バスケットボールクラブの記念となる今年にひとつでもよい結果を残せるように頑張りたいと思っています。引き続き、ご指導・ご支援よろしくお願いたします。

女子バスケットボール部 顧問 松本 勤 先生(体育)

平素より女子バスケットボール部の活動に対しご理解、ご協力していただき誠にありがとうございます。お蔭様で日々よりよい活動をさせていただいております。

新人戦、インターハイ予選ともに2大会連続2回戦で敗れました。

新人戦は大阪ベスト8に入るほどの力のある樟蔭高校だったので、厳しいディフェンスからうまくボール運びをさせてもらうことができず大差で負けました。

昨年度から導入された中央大会出場決定戦では、豊島高校に71-56で勝利したものの信太高校に41-88で敗戦し、中央大会には進出できませんでした。この敗戦から「しんどいときにどのようにか」を学ぶことができました。

これを次のインターハイ予選に繋げるために、練習試合の数を増やしました。コロナ禍で暫く遠征に行くことができなかったのが5年ぶりの遠征でした。たくさん強豪校と練習試合することで技術面や体力面のレベルアップだけではなく、集団生活を通じてチームとしての一体感も増したと感じました。

インターハイ予選の試合結果は、キャプテンが記載しているので割愛させていただきます。

この大会で痛感したことは、当たり前のことですがシュートの重要性を感じました。選手たちはうまくノーマークを作りシュートを打てたのですが、ことごとく外れてしまいました。シュートの確率、リバウンドやターンオーバーの数などの数字は勝敗の要因を示しています。バスケットボールを楽しむことが一番ですが、今後はデータにも目を向けながら指導していきたいです。

それらのデータ分析に100周年で寄贈いただいたタブレット(デジタルスコア管理)を活用させていただいています。非常に便利で見やすくチームのプラスになっています。本当にありがとうございます。

このインターハイ予選も、沢山の応援ありがとうございました。こんなにたくさんの方に来てもらっているのは彼女らの人柄だと思います。本当に選手たちはよく頑張っていたと思います。77期の3年生お疲れ様でした。今後は1、2年生の新チームになりますが引き続き、応援よろしくお願いたします。

8月12日(月)の天王寺高校バスケットボール100周年行事があります。そこで皆様にお会いできることを心より楽しみしております。

### 77期 男子主将

三品 幸史

いつもご支援ありがとうございます。

先日、インターハイ予選が行われました。天王寺は5月4日に4回戦で高石高校と対戦しました。前半は自分たちのバスケットができておらず、苦しい状況でしたが、なんとか10点差で粘り前半を終えました。

後半の出だしは天王寺の強みを活かしたプレーが少しづつできていましたが、時間が経つにつれ、リバウンドが取れなくなり、徐々に点差が開き敗退となりました。

このインターハイ予選で77期生は引退となりました。振り返ってみると、新チームが開始した1年前に比べて、チームはとて成長できたように感じます。また、私自身もキャプテンという立場について、バスケットだけでなく、人間的にも成長することができました。新チームが始まってからは、バスケットのことを考え、行動することが増えました。チームを運営していく上で、他の部員には見えないような仕事もたくさんこなしてきました。そのことから、今自分のしていることには、見えない部分で支えてくれている人が必ずいるということを学びました。

部活動という貴重な経験を与えてくださった顧問の濱岡先生をはじめ、支えてくださった全ての人に感謝したいです。応援ありがとうございます。

(切り取り線) 郵便はがき

5 4 6 - 8 7 9 0



大阪市東住吉区北田辺  
4丁目4番19号

桃陰バスケットボールクラブ

植野 健司 行



天王寺中学・高等学校バスケットボール部  
創部100周年記念式典

日程：2024年8月12日(月・祝日)  
場所：都シティ大阪天王寺 6階・吉野の間  
天王寺/阿部野橋駅直結  
時間：14時 受付開始  
14時半 開宴  
17時 終宴  
会費：男性 10,000円、女性 8,000円  
学生 5,000円

### 77期 女子主将

種子田 優

常日頃から、また100周年に向けてご支援、誠にありがとうございます。4月末にインターハイ予選が行われました。3年生にとって最後となる大会に向け、たくさんの方の協力の元、対策を行ってきました。1回戦の相手は上宮高校でした。前半は自分達のペースに持つていくことができませんでした。後半では前半の反省点を改善することができ、無事勝ち切ることができました。2回戦は泉陽高校でした。54-81と負けましたが、一人ひとりが攻め気を持ち続け、最後まで戦い切ることができました。

5月から新チームになり、慣れないことも多く最初は戸惑いました。しかし、現在は1、2年生で力を合わせて限られた日々の練習を全力で頑張っています。

今年はいくさんの1年生が入部してくれて、とても活気があります。初心者が多いため、個人間のレベルの差が生じてしましますが、お互いにアドバイスをし合い、より質の高い練習ができるように心がけています。

まだまだ未熟ではありますが、2年生8人、1年生11人、チーム一丸となって、周りから応援されるチームになれるように頑張りますので、今後ともご支援よろしくお願いたします。

### 現役戦績

#### 令和5年度

##### 大阪高等学校バスケットボール新人大会

#### <男子 東地区>

1回戦	○	119	-	31	かわち野
2回戦	●	53	-	56	高津

#### <女子 東地区>

2回戦	○	124	-	42	上宮太子
3回戦	●	34	-	156	樟蔭

#### 令和6年度

##### 大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会

#### <男子 東地区>

1回戦	○	130	-	21	昇陽
2回戦	○	96	-	40	大阪青凌
3回戦	○	71	-	47	豊島
4回戦	●	36	-	67	高石

#### <女子 東地区>

1回戦	○	77	-	59	上宮
2回戦	●	54	-	81	泉陽

# 天王寺中学・高校 バスケットボール部 祝創部100周年

## 創部100周年記念事業について

### 【記念試合ならびに記念式典】

開催日：2024年8月12日（月・祝）

#### <記念試合・記念総会>（会場：天王寺高校）

9:00～ 開場

9:30～ 記念試合（男女）vs 北野高校

11:00～ OB/OG 戦

12:30～ 記念総会

#### <記念式典>（会場：ホテル都シティ大阪天王寺）

大阪市阿倍野区松崎町1-2-8 TEL:06-6628-3200

14:00～ 受付

14:30～ 開宴

17:00 式典終了

#### <式典会費>

男性 10,000円 女性 8,000円 学生 5,000円

### <東京桃陰BBCからのお知らせ>

今回の100周年記念式典参加にあたり、関東地方ご在住の先輩方の中で「参加したいけど一人で行くのはちょっと自信ない」とためらい気味の皆様はいらっしゃいませんか。

記念式典前日、或いは当日に関東から、大阪の会場まで一緒に行くことを計画しています。ガイド役が一人付き、例えば東京駅で集合し新幹線などに乗り、天王寺の会場までお伴し、翌日も東京駅までお伴することを考えています。

詳細はこれから詰めますが飛行機での移動をご希望の場合など、柔軟に対応いたします。ご興味のある方は山本（34期）までご連絡をお待ちしております。

([touinbbc@gmail.com](mailto:touinbbc@gmail.com)

メールの標題に「100周年参加ツアー」とお書きください。)

### 【関連取組】

<贈答品> 体育館リング増設、屋外リング寄贈  
iPad型スコアリングツール（BasekePlus）

<記念品> 記念Tシャツ（右記参照）

<記念誌> 100年の軌跡 200頁相当の作成・販売

<寄付> 下記参照

<広報> 記念ホームページの作成・公開

創部100周年特設サイト

< <https://touinbbc.net> >



創部100周年記念行事情報を随時更新中！  
バスケット部卒業アルバム写真、  
創部95周年記念誌（桃陰BBCだより集約版）  
他、掲載中

（切り取り線）

## 出欠確認票

天王寺中学-高等学校バスケットボール部  
創部100周年記念式典

- 申し込み期日：2024年7月10日
- 参加申し込み方法  
以下のいずれかでお願いします。
  - ・ 本状を切り取ってご返送
  - ・ 下記のQRコードでアクセス



氏名：

卒期：中・高（ ）期

### 【桃陰 BBC 事務局からのお願い】

・ 桃陰BBC 100周年記念誌ご寄稿ページ

<https://forms.gle/76ugz7LqKknbargDA>

※ 各期幹事に各期を代表して記念誌へのご寄稿と写真提供をお願いしています。もしご存じない場合は、各期幹事にご確認ください。

各期幹事がおられない期の場合、ご自由に寄稿、写真提供をお願いします。

提出期日 7月10日（水）

・ 各期幹事の掲載ページ

<https://touinbbc.net/?p=33>

・ 住所更新登録

<https://forms.gle/WBYpPcvMkm87xHWH8>

※ 桃陰BBCだよりが届いていない同期、先輩、後輩がおられましたら、住所の登録をお願いいたします。

## 創部100周年記念Tシャツ

お申し込みをお忘れの方、追加注文  
ご希望の方は6月末までお願いします



1月末に発送しました記念品特集号で詳細はご案内しております。

こちらの2次元バーコードからも申し込み頂けます。



## 創部100周年寄付継続中

270万円を超えました

寄付の状況（2024年3月末現在）

『270万4000円』（180件）

先日来、バスケットボール部の創部100周年を記念したご寄付をお願いしておりましたが、2024年3月末現在、のべ180名の皆様から合計270万円を超えるご寄付を頂戴いたしました。ここに中間報告をさせて頂くと共に、現役やこれから入部する未来の後輩の皆様への温かいお気遣い、心より御礼申し上げます。早速贈呈品部会から、タブレット形式の作戦ボード、「バスケットプラス」が発注されました。

「あっ、忘れてた」という皆様方もいらっしゃるかと勝手に想像致します。引き続きご支援をお待ち致しておりますのでご検討の程御願ひ申し上げます。

実行委員会寄付担当